

Yahoo! BB 光 **光BBユニット(フレッツ対応)**

セットアップガイド

ソフトバンクBB株式会社

目 次

安全のために特に注意してください	2
光BBユニットの付属品	5
● 梱包内容	5
● 本体外観	6
セットアップ	7
● 用意するもの	7
● 接続方法	8
● 「かんたんセットアップ」CD-ROMによる設定	12
● LEDランプの確認	15
手動によるセットアップ	16
● 本体の設定	16
● パソコンの設定（A）Windows 98/98SE/Meの場合	21
● パソコンの設定（B）Windows 2000の場合	26
● パソコンの設定（C）Windows XPの場合	29
● パソコンの設定（D）Windows Vistaの場合	35
● パソコンの設定（E）Mac OS 9.1以降の場合	38
● パソコンの設定（F）Mac OS Xの場合	42
無線LANの設定（無線LANパックをお申し込みの方のみ）	46
● 有線LANによるパソコンの接続	46
● 無線LANカードの装着	46
● 簡単設定で基本セキュリティを設定する	47
● パソコンのセキュリティ設定	50
● 無線LANによる接続	53
詳細な機能の設定をする	56
● 詳細設定画面	56
● 有線LAN・無線LAN共通－IPアドレス/DHCPサーバ	58
● 有線LAN・無線LAN共通－有線LAN⇄無線LAN間通信	59
● 無線LANオプション－基本設定	60
● 無線LANオプション－MACアドレスフィルタリング	64
● ルータ機能－ポート転送	66
● ルータ機能－UPnP	68
● 保守－ログインパスワード	69
製品仕様	70

安全のために特に注意してください

本製品を正しく使用するために、必ずお読みになり、よく理解されたうえでお使いください。

ご利用の前に必ずお読みください

- ・ご利用の際は、本冊子に従って正しい取り扱いをしてください。
- ・本製品の仕様は国内向けとなっています。海外ではご利用できません。
- ・本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外的要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万一本製品に登録された情報内容が消失してしまうことでの純粋経済損失につきまして、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本冊子に他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制あるいは保証するものではありません。
- ・本冊子、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観については、将来予告なしに変更することがあります。

お願い

- ・ベンジン、シンナー、アルコールなどで本製品をふかないでください。本体の変色や変形の原因となることがあります。汚れのひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふきとり、やわらかい布でからぶきしてください。
- ・電源を再投入する場合、電源を切った状態から30秒以上経った後に電源を入れてください。これを守らないと故障の原因になることがあります。
- ・本製品はソフトバンクBBまたはその指定する会社が所有しているものであり、お客様へお貸し出ししているものです。本製品の第三者への譲渡、質入、転貸、損壊、破棄、着色その他一切の処分を行うことを禁止します。

使用している警告表示の意味



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



本製品をご自分で修理・分解・改造等、目的以外の使用をしないでください。火災・感電・やけど、けがのおそれがあります。

本製品をお子様が分解したり、内部に触れたりしないようにしてください。火災・感電・やけど・けがのおそれがあります。

落としたり、衝撃を与えた場合は、すぐに使用を中止して電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止して電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源コードを、傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり引っ張ったりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

本製品の内部に水が入ったり、本製品をぬらしたりした場合は、すぐに電源を切り、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本製品の通気孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一異物が入った場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



警告

本製品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本製品の内部に熱がこもり、火災・機器故障の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・じゅうたんやカーペット（床暖房を含む）、布団などの上に置く
- ・本棚、タンスの中、押し入れの中など風通しの悪い場所に置く
- ・テーブルクロスなどの布やレースを本製品に掛ける
- ・紙、本などをのせたり立て掛けたりする

電源アダプタコードを束ねたり、許容量以上の配線はおやめください。火災の原因になることがあります。

電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張ると、コードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。

本製品は、場合により熱くなることがありますので、使用中の本製品の周辺に紙・布等、燃えやすいものは置かないようにしてください。

本製品を取り付け・使用する際は、必ず使用するパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

本製品を医療機関や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。



注意

電源アダプタがコンセントに接続されているときは、ぬれた手で本製品に触らないでください。感電の原因となります。

本製品をふる場や加湿器のそばなど、湿度の高い所で設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

直接日光の当たる所や、ストーブ、ヒーターなどの発熱器のそばなど、温度の高い所に置いて使用しないでください。内部の温度が上がり、火災・機器故障の原因となることがあります。

本製品の上に物をのせて使用しないでください。高温による火災の原因となることがあります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。落雷によって、火災や感電・機器故障の原因となることがあります。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。人体などの静電気は、本製品を破損またはデータ消失・破壊させるおそれがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本製品の電源アダプタをコンセントから抜いてください。

付属品のCD-ROMをオーディオ用プレーヤーで使用しないでください。大音量によりスピーカーの破損や耳の障害の原因となることがあります。

光BBユニットの付属品

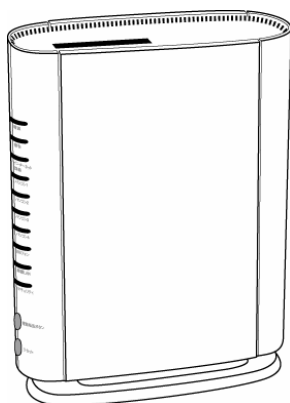
●梱包内容

箱の中に以下のものが揃っているか確認してください。万一不足品があった場合は、巻末のお問い合わせ先をご覧ください。ご連絡ください。

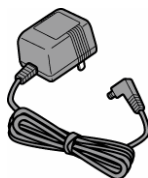
※ 製品の外観は実際と異なる場合があります。

※ 無線LANパックにお申し込みの場合、無線LANカード（1枚）が同梱されます。

本製品（1台）



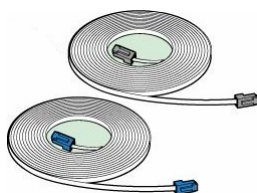
電源アダプタ
（1台）



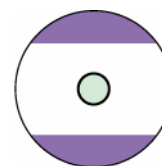
モジュールケーブル
（黄色・緑色 各1本）



LANケーブル
（灰色・青色 各1本）

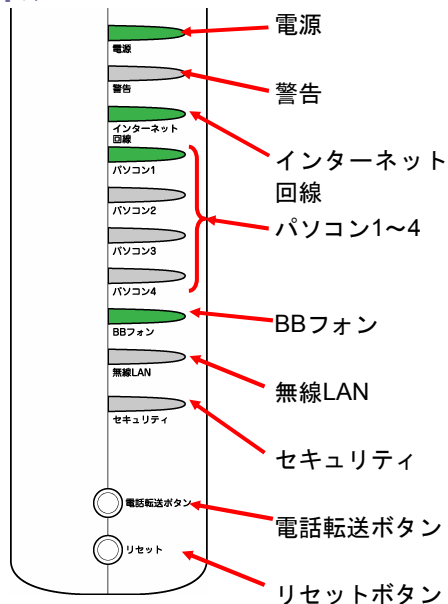


かんたんセットアップCD-ROM
（1枚）



●本体外観

前面パネル



本製品の電源が入っている場合に点灯します。

何らかの通信障害が発生した場合に点灯します。正常時は消灯します。

インターネット回線、またはインターネット接続機器等に接続している場合に点灯します。

本製品にLANケーブルで接続されたパソコンの電源が入っている場合に点灯します。

(100Mbpsの場合緑色／10Mbpsの場合は橙色)

BBフォンを利用した通話が可能な場合に点灯します (※)

無線LANカードが装着されている場合に点灯します (※)

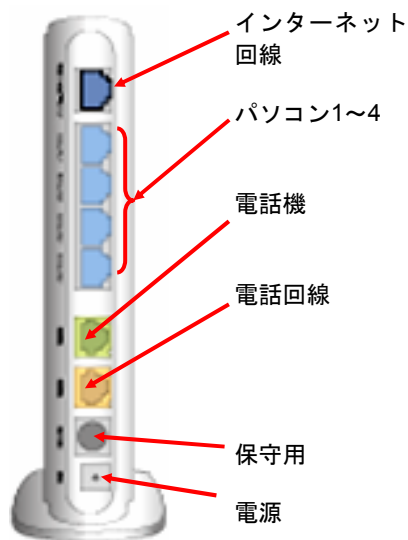
(未使用)

(未使用)

本製品を再起動する場合に押します。

(※) 各種オプションサービスにお申し込み
いただいていない場合は、消灯します。

背面パネル



NTTより提供される「フレッツ」用の宅内機器とLANケーブルで接続します。

パソコンのLANコネクタにLANケーブルで接続します。

電話を利用するとき、電話機に電話用モジュールラージャーケーブルで接続します。

電話を利用するとき、宅内の電話用モジュールラージャックまたはNTTより提供される「フレッツ」用の宅内機器にモジュールラージャーケーブルで接続します。

(未使用)

電源アダプタを接続します。

セットアップ

●用意するもの

以下のものをご用意ください。

必要な機器

- ・パソコン

Windows 7 /Vista / XP /2000、Mac OS 9/X（Open Transport2.7以上）

- ・100Base-TXに対応したLANアダプタ

お使いのパソコンにLANアダプタが内蔵されていない場合、ご利用の機種に合わせて以下のLANアダプタをご用意のうえ、正しく装着し、利用可能な状態にしてください。

- ・ノートパソコンの場合

PCカードタイプのLANアダプタかUSBポート接続タイプのLANアダプタが必要です。

- ・デスクトップパソコンの場合

PCIバスタイプ（本体内蔵型のLANアダプタ）かUSBポート接続タイプのLANアダプタが必要です。

なお、LANアダプタの選択や具体的な取り付け方法については、パソコンに付属の取扱説明書等をご覧ください。か、パソコンメーカー、LANアダプタのメーカーにお問い合わせください。

無線LANパックをご利用の場合

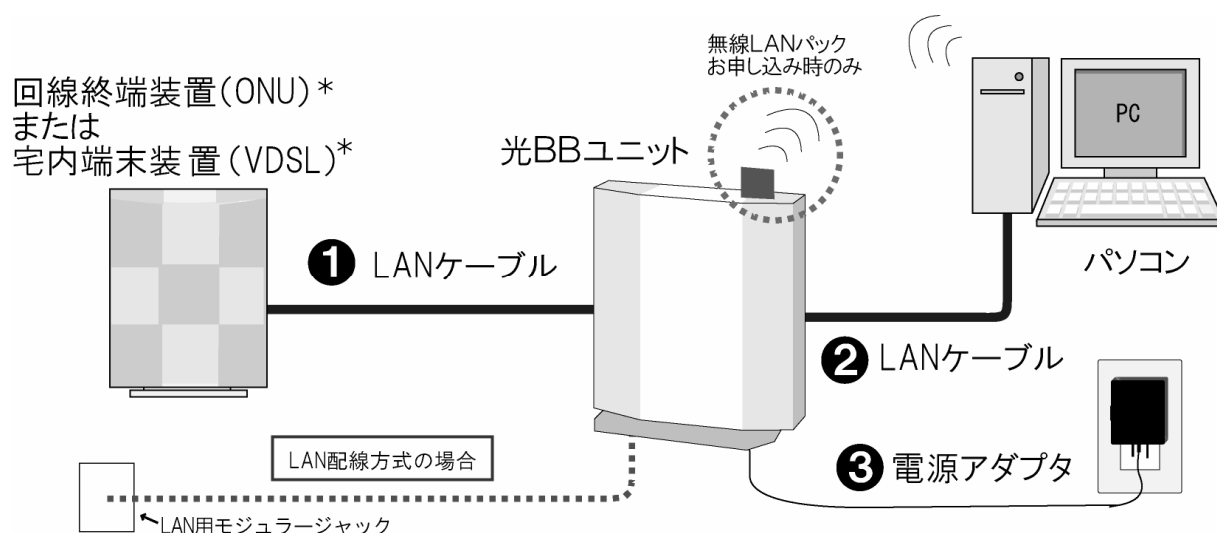
- ・パソコン用無線LANアダプタ

お使いのパソコンが無線LAN機能を内蔵していない場合、無線LAN規格がIEEE 802.11 g/b 準拠の「パソコン用無線LANアダプタ」をご用意のうえ、正しく装着し、利用可能な状態にしてください。

なお、無線LANアダプタの選択や具体的な取り付け方法については、パソコンに付属の取扱説明書等をご覧ください。か、パソコンメーカー、無線LANアダプタのメーカーにお問い合わせください。

● 接続方法

フレッツ 光ネクスト／Bフレッツで ひかり電話をご利用にならないお客様



*NTT東日本／NTT西日本提供機器につきましては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

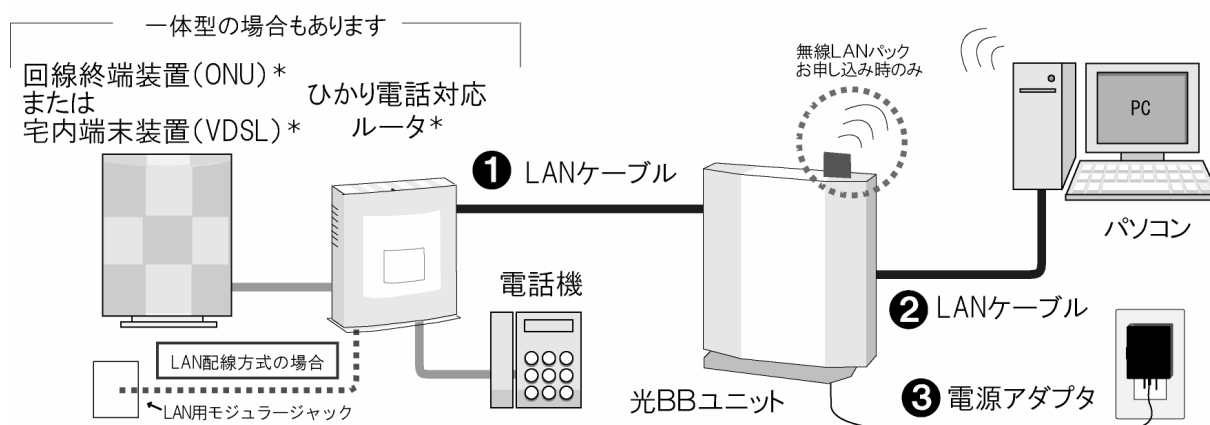
■ 接続方法

- ※ あらかじめ、接続する機器類の電源は切ってください。
- ① LANケーブル（灰色）で、本製品の「インターネット回線」ポートと回線終端装置または宅内端末装置（NTT設置）のLANポートを接続してください。
 - ② LANケーブル（青色）で、本製品の「パソコン1」～「パソコン4」ポートのいずれかと、パソコンのLANポートを接続してください。
 - ③ 電源アダプタを本製品の「電源」ポートに接続し、もう一方をコンセントに差し込んでください。
 - ④ 本製品に同梱の「かんたんセットアップCD-ROM」でインターネット接続設定（P12）を行います。
 - ⑤ 本製品のランプが正しく点灯しているかどうか確認します（P15）。

■ 本接続方法では、下記フレッツサービスはご利用いただけませんのでご了承ください

NTT東日本	フレッツ 光ネクスト: フレッツ・ウイルススクリアv6／IPv6映像サービス（ひかりTV、GyaO NEXT）／フレッツ・スクウェアネクスト／フレッツ 光ネクストサービス情報サイト／速度測定サイト／サービス申込受付ページ Bフレッツ: フレッツ・ウイルススクリア／フレッツ・ドットネット／IPv6映像サービス（ひかりTV、GyaO NEXT）／フレッツ・オンデマンド／フレッツ・スクウェア／フレッツ・ウイルススクリアv6／速度測定サイト／サービス申込受付ページ
NTT西日本	フレッツ 光ネクスト: セキュリティ機能*／フレッツ 光ネクストサービス情報サイト／速度測定サイト／サービス申込画面 Bフレッツ: フレッツ・スクウェア／フレッツ・v6アプリ／v6ステージ／速度測定サイト／サービス申込画面／ユーザ情報変更画面 *NTT西日本の「フレッツ 光ネクスト」にはセキュリティ機能がパソコン(OS)1台分標準装備されています。

フレッツ 光ネクスト／Bフレッツで ひかり電話をご利用のお客様



*NTT東日本／NTT西日本提供機器につきましては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 接続前に、ひかり電話対応ルータの設定を行います

- ① LANケーブル（灰色）でひかり電話対応ルータのLANポートと、パソコンのLANポートを接続します。
- ② NTT東日本／NTT西日本よりお届けのCD-ROMを使用し、画面の案内にしがたってPPPoEブリッジ（PPPoEパススルー）の機能を使用するに設定します。
- ③ 設定が終わったらインターネットに接続できることを確認し、ひかり電話対応ルータとパソコンを接続したLANケーブルを取り外します。

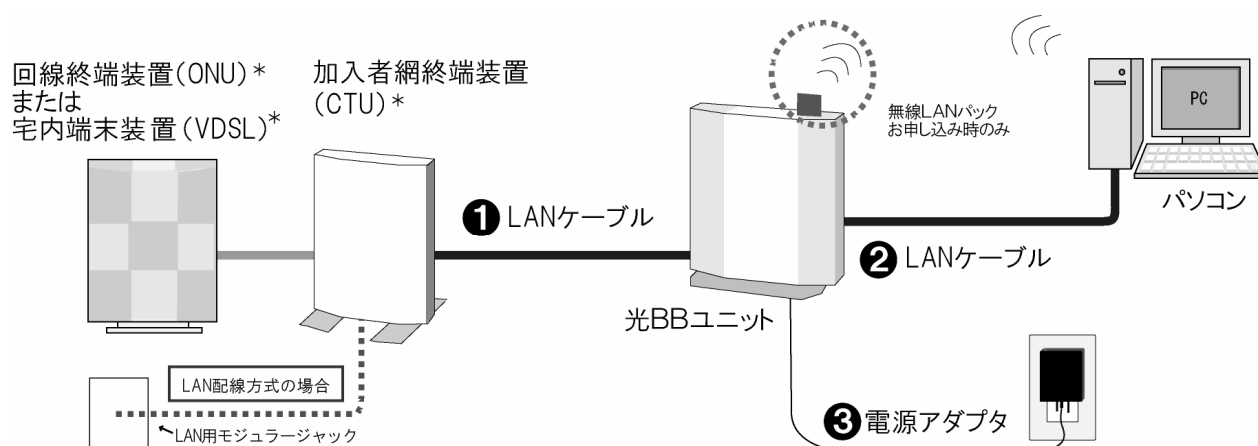
■ 接続方法

- ※ あらかじめ、接続する機器類の電源は切ってください。
- ① LANケーブル（灰色）で、本製品の「インターネット回線」ポートとひかり電話対応ルータのLANポートを接続してください。
 - ② LANケーブル（青色）で、本製品の「パソコン1」～「パソコン4」ポートのいずれかと、パソコンのLANポートを接続してください。
 - ③ 電源アダプタを本製品の「電源」ポートに接続し、もう一方をコンセントに差し込んでください。
 - ④ 本製品に同梱の「かんたんセットアップCD-ROM」でインターネット接続設定（P12）を行います。
 - ⑤ 本製品のランプが正しく点灯しているかどうか確認します（P15）。

■ 本接続方法では、下記フレッツサービスはご利用いただけませんのでご了承ください

NTT東日本	フレッツ 光ネクスト:フレッツ・ウイルススクリアv6/フレッツ・スクウェアネクスト/フレッツ 光ネクストサービス情報サイト/速度測定サイト/サービス申込受付ページ Bフレッツ:フレッツ・ウイルススクリア/フレッツ・ドットネット/フレッツ・オンデマンド/フレッツ・スクウェア/フレッツ・ウイルススクリアv6/速度測定サイト/サービス申込受付ページ
NTT西日本	フレッツ 光ネクスト:セキュリティ機能*/フレッツ 光ネクストサービス情報サイト/速度測定サイト/サービス申込画面 Bフレッツ:フレッツ・スクウェア/フレッツ・v6アプリ/v6ステージ/速度測定サイト/サービス申込画面/ユーザ情報変更画面 *NTT西日本の「フレッツ 光ネクスト」にはセキュリティ機能がパソコン(OS)1台分標準装備されています。

フレッツ・光プレミアムで ひかり電話をご利用にならないお客様



*NTT東日本/NTT西日本提供機器につきましては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 接続前に、加入者網終端装置（CTU）の設定を行います

- ① LANケーブル（灰色）で加入者網終端装置（CTU）のLANポートと、パソコンのLANポートを接続します。
- ② 加入者網終端装置（CTU）の取扱説明書にしたがい、PPPoE機能の設定（PPPoE認証の設定）をします。詳細の設定はNTT西日本よりお届けのCD-ROM等でご確認ください。
- ③ 設定が終わったら加入者網終端装置（CTU）とパソコンを接続したLANケーブルを取り外します。

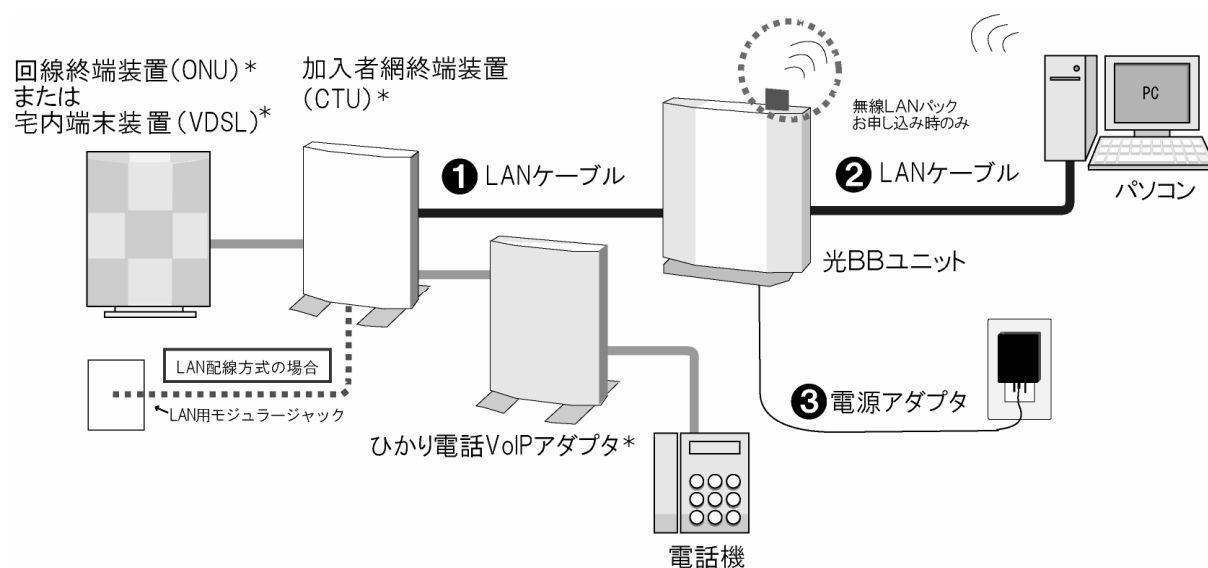
■ 接続方法

- ※ あらかじめ、接続する機器類の電源は切ってください。
- ① LANケーブル（灰色）で、本製品の「インターネット回線」ポートと加入者網終端装置（CTU）の「インターネット回線」ポートを接続します。
 - ② LANケーブル（青色）で、本製品の「パソコン1」～「パソコン4」ポートのいずれかと、パソコンのLANポートを接続してください。
 - ③ 電源アダプタを本製品の「電源」ポートに接続し、もう一方をコンセントに差し込んでください。
 - ④ 本製品に同梱の「かんたんセットアップCD-ROM」でインターネット接続設定（P12）を行います。
 - ⑤ 本製品のランプが正しく点灯しているかどうか確認します（P15）。

■ 本接続方法では、下記フレッツサービスはご利用いただけませんのでご了承ください

NTT西日本	セキュリティ機能*/フレッツ スクウェア/v6ステージ/速度測定サイト/CTU設定サイト/ユーザ情報変更画面 /サービス申込画面 *NTT西日本の「フレッツ・光プレミアム」にはセキュリティ機能がパソコン(OS)1台分標準装備されています。
--------	---

フレッツ・光プレミアムで ひかり電話をご利用のお客様



*NTT東日本/NTT西日本提供機器につきましては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 接続前に、加入者網終端装置（CTU）の設定を行います

- ① LANケーブル（灰色）で加入者網終端装置（CTU）のLANポートと、パソコンのLANポートを接続します。
- ② 加入者網終端装置（CTU）の取扱説明書にしたがい、PPPoE機能の設定（PPPoE認証の設定）をします。詳細の設定はNTT西日本よりお届けのCD-ROM等でご確認ください。
- ③ 設定が終わったら加入者網終端装置（CTU）とパソコンを接続したLANケーブルを取り外します。

■ 接続方法

- ※ あらかじめ、接続する機器類の電源は切ってください。
- ① LANケーブル（灰色）で、本製品の「インターネット回線」ポートと加入者網終端装置（CTU）の「インターネット回線」ポートを接続します。
 - ② LANケーブル（青色）で、本製品の「パソコン1」～「パソコン4」ポートのいずれかと、パソコンのLANポートを接続してください。
 - ③ 電源アダプタを本製品の「電源」ポートに接続し、もう一方をコンセントに差し込んでください。
 - ④ 本製品に同梱の「かんたんセットアップCD-ROM」でインターネット接続設定（P12）を行います。
 - ⑤ 本製品のランプが正しく点灯しているかどうか確認します（P15）。

■ 本接続方法では、下記フレッツサービスはご利用いただけませんのでご了承ください

NTT西日本	セキュリティ機能*/フレッツ スクウェア/v6ステージ/速度測定サイト/CTU設定サイト/ユーザ情報変更画面 /サービス申込画面 *NTT西日本の「フレッツ・光プレミアム」にはセキュリティ機能がパソコン(OS)1台分標準装備されています。
--------	---

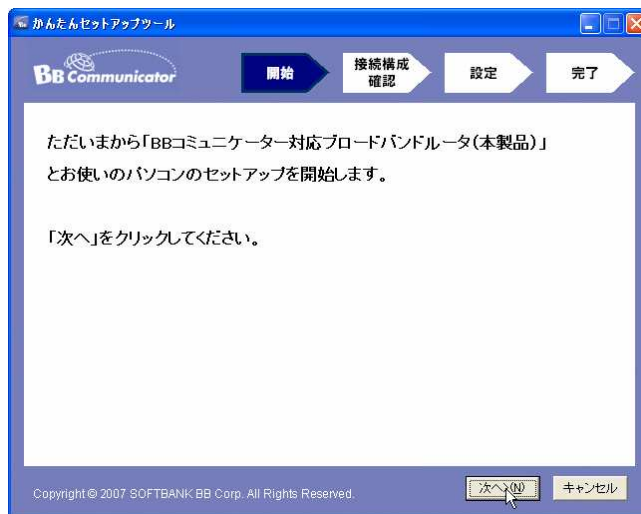
●「かんたんセットアップ」CD-ROMによる設定

Windowsパソコンをご利用の場合、本製品は、同梱されている「かんたんセットアップCD-ROM」によって、本体およびパソコンを自動的に設定することができます。

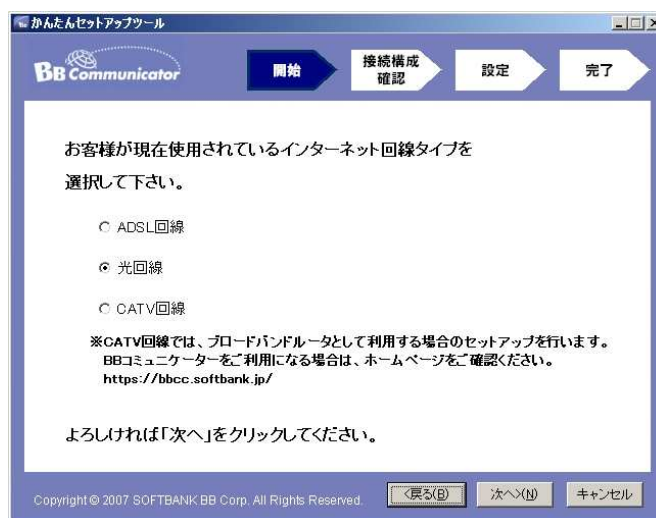
「かんたんセットアップ」CD-ROMによる設定は以下の手順で行います。
※あらかじめパソコンと本製品をLANケーブルで接続しておいてください。

- ①本製品（必要に応じて電話機）の電源が入っていることを確認し、パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
- ②パソコンに「かんたんセットアップCD-ROM」をセットします。
- ③「かんたんセットアップ」が自動的に起動し、以下の画面が表示されます。

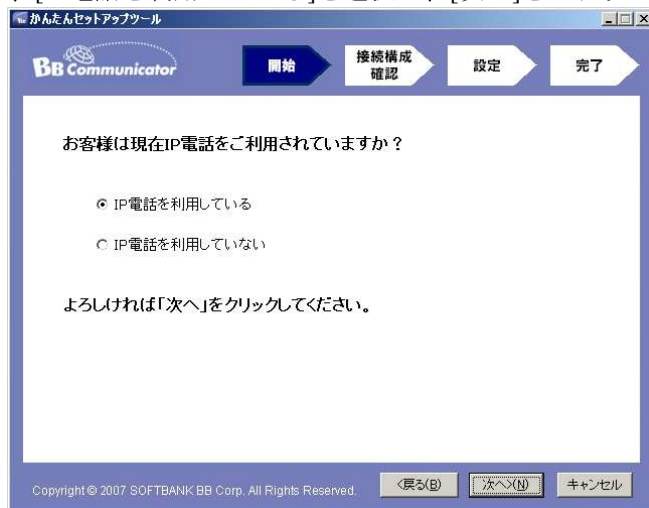
[次へ]をクリックし以下、画面の指示に従って進めてください。



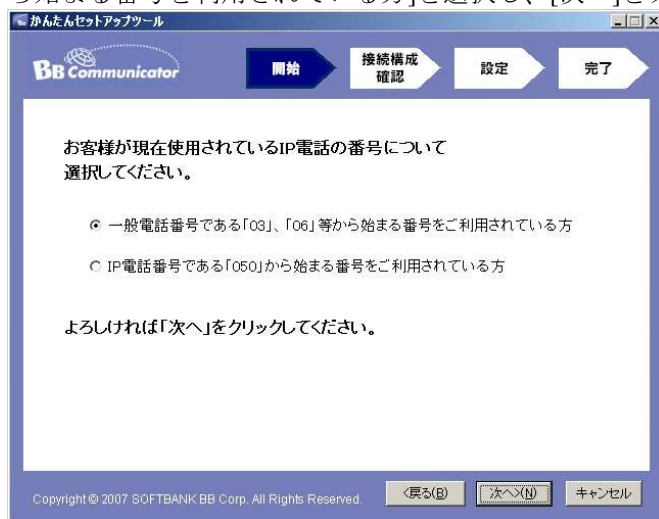
- ④下記画面では、お客様のご利用環境を確認します。[光回線]を選択し、[次へ]をクリックしてください。



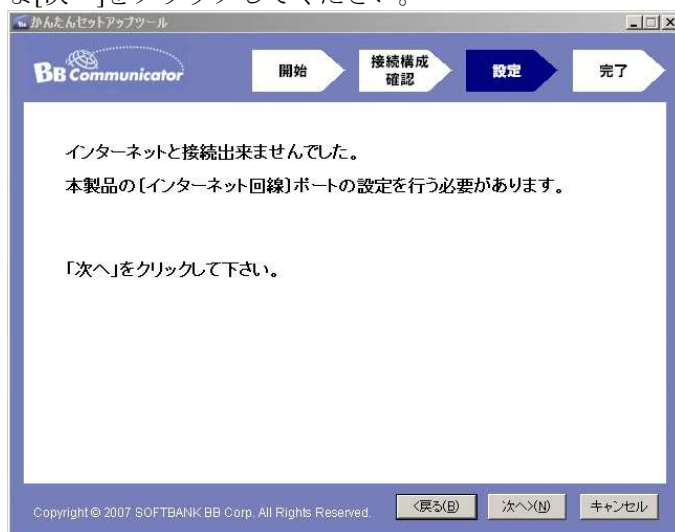
- ⑤「ひかり電話」のご利用状況を確認します。下記画面で「ひかり電話」をご利用のお客様は、[IP電話を利用している]を選択し、[次へ]をクリックしてください。



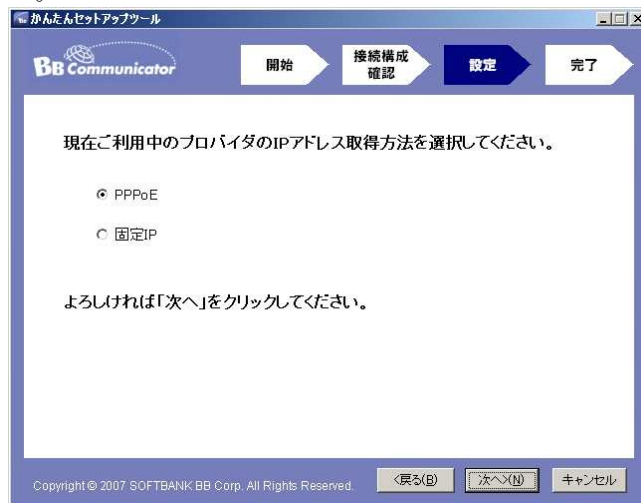
下記画面で「ひかり電話」をご利用のお客様は、[一般電話番号である「03」、「06」等から始まる番号を利用されている方]を選択し、[次へ]をクリックしてください。



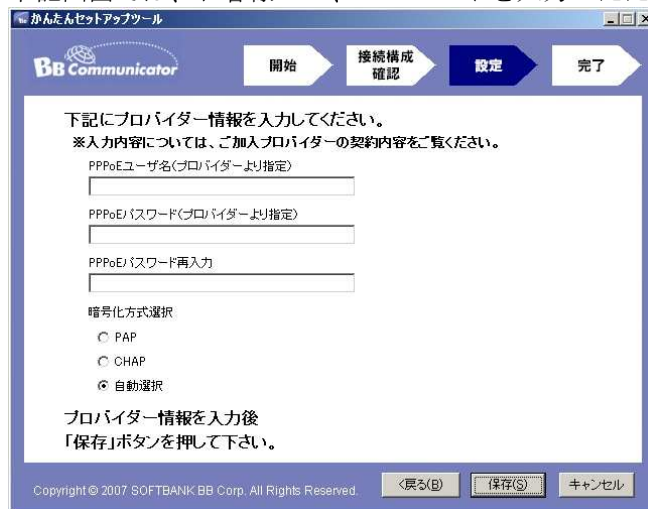
- ⑥電話機やパソコンなど接続構成の確認後、自動的にインターネットの接続確認を行います。以下の画面にて「インターネットに接続出来ませんでした。」と表示されますが、そのまま[次へ]をクリックしてください。



⑦次に、接続設定を行います。下記画面では[PPPoE]を選択して[次へ]をクリックしてください。



下記画面では、お客様のID、パスワードを入力いただきます。



■ [PPPoEユーザ名 (プロバイダーより指定)] の部分には

スターターパックの「お申し込み内容確認書」をご確認のうえ、
認証ID (PPPoEユーザ名)

【***@XXXXXXXXXX】**

を入力して下さい。

■ [PPPoEパスワード (プロバイダーより指定)] の部分には、

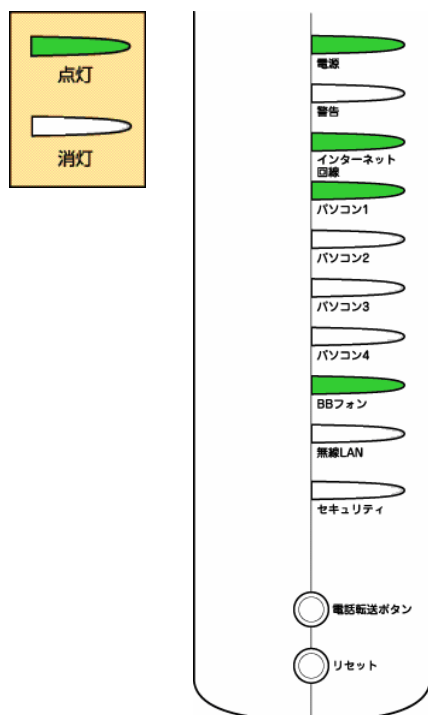
スターターパックの「お申し込み内容確認書」をご確認のうえ、
認証パスワードを入力して下さい。

⑧上記の画面でお客様のID、パスワードを入力後[保存]をクリックし、そのまま画面の指示に従って進めてください。再度インターネットの接続確認を行い、接続方法に応じてパソコンおよび本体を適切に設定し、「Yahoo! JAPAN」等のホームページにアクセスできればセットアップは完了です。

●LEDランプの確認

セットアップが終わったら本製品の前面パネルのLEDランプが正常に点灯するかどうかを確認してください。

※BBフォンにお申し込みいただいていない場合、「BBフォンランプ」は点灯しません。



手動によるセットアップ

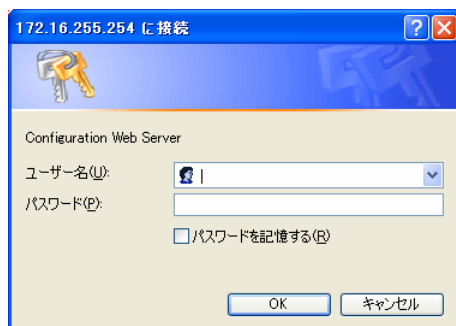
●本体の設定

セットアップメニューへのログイン

- ①本製品にLANケーブルで接続したパソコンでInternet Explorerを起動し、アドレス欄に以下のように入力して [Enter] キーを押します。

<http://172.16.255.254/>

- ②Webブラウザに以下の認証画面が表示されます。



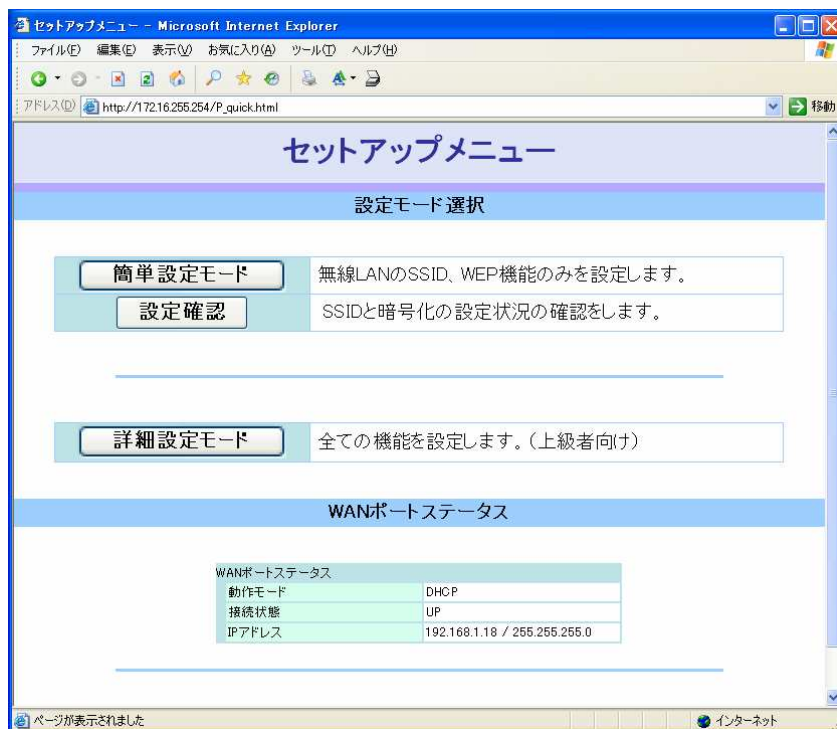
- ③ユーザー名とパスワードを次のように入力して、[OK] ボタンをクリックします。

ユーザー名 : user

パスワード : user

※「user」はすべて半角英小文字で入力します。

- ④Webブラウザに「セットアップメニュー」画面が表示されます。



※セットアップ画面が表示できない場合

セットアップ画面が表示できない場合は、次のことを確認してください。

- (A) 電源アダプタをコンセントから抜いて、本製品の電源を切り、再度電源を入れて、最初からやり直してください。
- (B) (A)を試してもセットアップ画面が表示されない場合は、以下の項目がそれぞれ記されたようになっているかどうかを確認してください。

- ・ Internet Explorer5.5以上を使用している。
- ・ Internet Explorerの [ツール] → [インターネットオプション] の [セキュリティ] タブのセキュリティレベルが「中高」になっている。
(規定値でない場合は、[規定値に戻す] ボタンをクリックし、設定を規定値に戻してください。)
- ・ Internet Explorerの [ツール] → [インターネットオプション] の [接続] タブの [LANの設定] で、「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックがはずれている。
- ・ Internet Explorerの [ツール] → [インターネットオプション] の [全般] タブの [ファイルの削除] および [履歴のクリア] をクリックし、インターネット一時ファイルや履歴のクリアを行う。

※Internet Explorer7を使用している場合は、操作が異なりますので以下をご確認ください。

[ツール] → [インターネットオプション] の [全般] タブの [削除] で、[ファイルの削除] および [履歴の削除] をクリックし、インターネット一時ファイルや履歴のクリアを行う。

- ・ ファイアウォール機能を持つソフト (Norton Internet Security、ウイルスバスター等) を起動していない。もしくはそのソフトのファイアウォール機能を停止している。

※それぞれのソフトの停止方法は、ソフトメーカーへお問い合わせください。

以上を確認後、最初からお試してください。

WANポートの設定

- ①セットアップメニューの「詳細設定モード」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Setup Menu' (セットアップメニュー) with a 'Setting Mode Selection' (設定モード選択) section. It contains three buttons: 'Simple Setting Mode' (簡単設定モード), 'Setting Confirmation' (設定確認), and 'Detailed Setting Mode' (詳細設定モード). The 'Detailed Setting Mode' button is circled in red. Below this is the 'WAN Port Status' (WANポートステータス) section, which displays a table with the following information:

WANポートステータス	
動作モード	DHCP
接続状態	UP
IPアドレス	192.168.1.18 / 255.255.255.0

At the bottom, it says 'Copyright © 2007 SOFTBANK BB Corp. All rights reserved.'

- ②セットアップメニューの「詳細設定」画面が表示されますので、「[WANポート]」の「[WANポート設定]」をクリックします。

The screenshot shows the 'Setup Menu' (セットアップメニュー) with a 'Detailed Setting' (詳細設定) section. The 'WAN Port' (WANポート) option is highlighted in the left sidebar, and the 'WAN Port Setting' (WANポート設定) option is circled in red. The main area shows the 'Basic Setting' (基本設定) screen with the following fields:

- SSID: User
- 無線チャンネル: 自動(1~11)
- 無線LAN通信規格の設定: 自動(IEEE802.11b/g)
- 暗号化設定: 暗号化方式 (使用しない, WEP, WPA-PSK), WEP (WEP: 64bits(16進数), WEPキー1:)

- ③「WANポート設定」画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Setup Menu' (セットアップメニュー) with a 'Detailed Setting' (詳細設定) section. The 'WAN Port' (WANポート) option is highlighted in the left sidebar, and the 'WAN Port Setting' (WANポート設定) option is circled in red. The main area shows the 'WAN Port Setting' (WANポート設定) screen with the following fields:

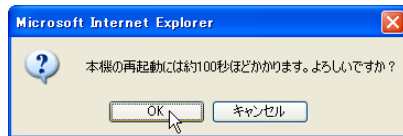
- 動作モード: DHCPクライアント
- PPPoEクライアント設定: PPPoEユーザ名 (adsl), PPPoEパスワード (), 暗号化 (自動選択, CHAP, PAP)
- 固定IP設定: WANポートIPアドレス/サブネットマスク ()

- ・ [動作モード] で「PPPoEクライアント」を選択します。
「PPPoEクライアント設定」部分の以下の項目を設定して [OK] ボタンをクリックします。

項目	指定内容
PPPoEユーザ名	*****@××××××××××と入力します。 ※スターターパックの「お申し込み内容確認書」に記載されている、 認証ID (PPPoEユーザ名) を入力してください。
PPPoEパスワード	スターターパックの「お申し込み内容確認書」に記載されている 認証パスワード を入力します。
暗号化	自動選択を選択します。

- ④ 「WANポート設定」画面で [OK] ボタンをクリックすると以下の画面に変わりますので、画面左下の「再起動」ボタンをクリックします。

- ⑤再起動確認の画面が表示されますので、[OK] をクリックします。



- ⑥「システムは再起動しています。約100秒ほどお待ちください」と表示され、約100秒後に「セットアップメニュー」に戻ります。

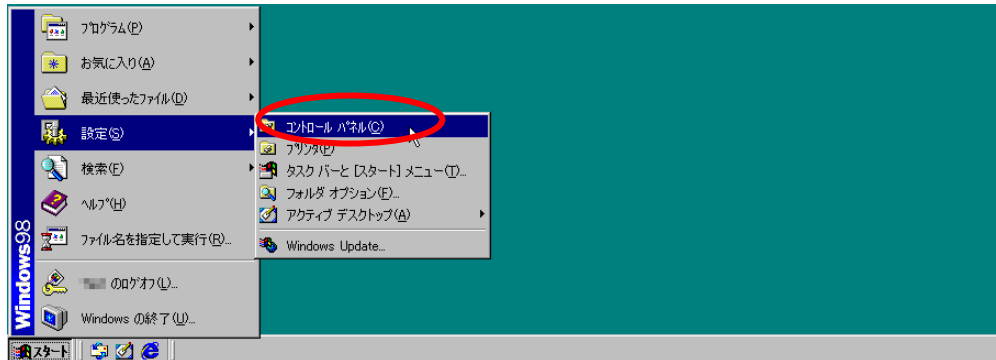


パソコンの設定(A)Windows 98/98SE/Meの場合

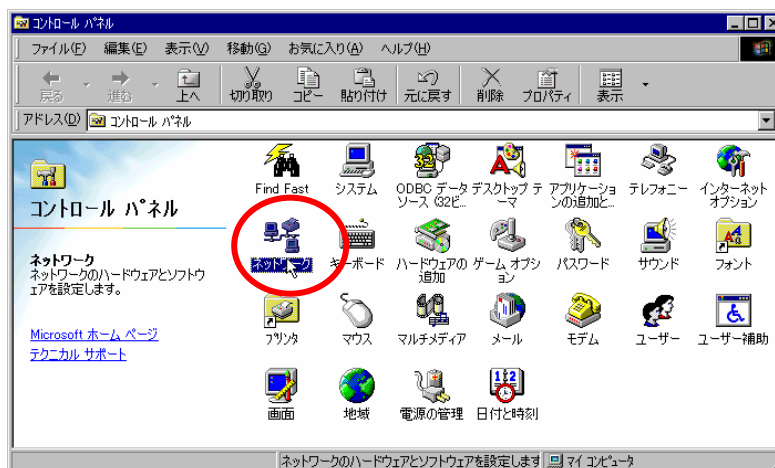
※以下の説明ではWindows 98SEの画面を使用しています。

ネットワークの設定

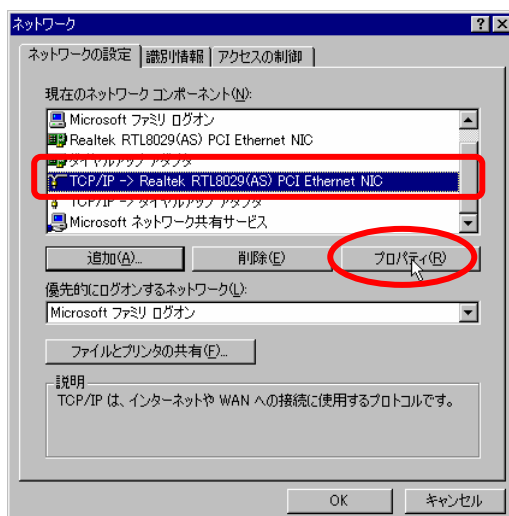
- ① [スタート] メニューから [設定] の [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] を開きます。



- ② 「コントロールパネル」画面で [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

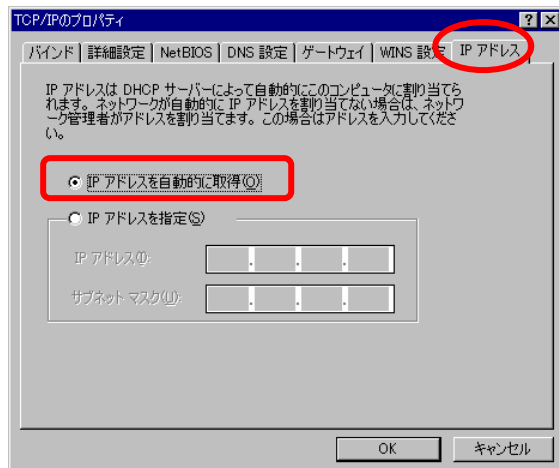


- ③ 「ネットワーク」画面で [ネットワークの設定] タブを開き、「TCP/IP-> (LANアダプタの名称)」を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

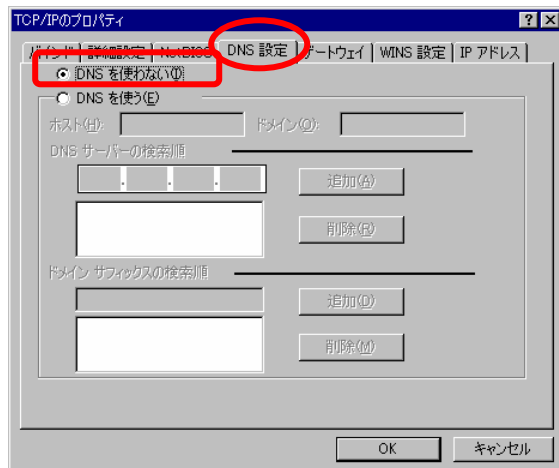


※「TCP/IP-> (LANアダプタの名称)」が見当たらないときは244ページを参照してください。

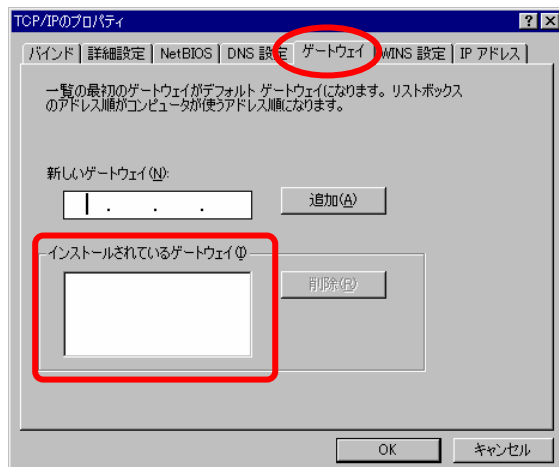
- ④ 「TCP/IPのプロパティ」画面で、[IPアドレス] タブを開き、「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。



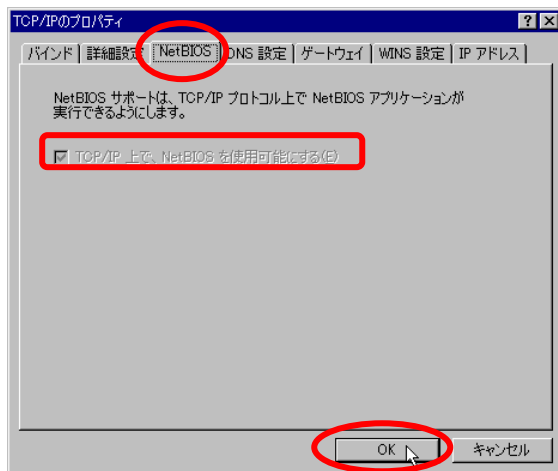
- ⑤ 「TCP/IPのプロパティ」画面で、[DNS設定] タブを開き、「DNSを使わない」を選択します。



- ⑥ 「TCP/IPのプロパティ」画面で、[ゲートウェイ] タブを開き、「インストールされているゲートウェイ」に何も登録されていないことを確認します。もし何か登録されていたら、そのアドレスを選択して[削除] ボタンをクリックします。



- ⑦ 「TCP/IPのプロパティ」画面で、[NetBIOS] タブを開き、「TCP/IP上でNetBIOSを使用可能にする」にチェックがついていないことを確認し、[OK] ボタンをクリックします。もしチェックがついていたら、クリックしてチェックを外します。チェックが外せない場合はそのまま次へ進みます。

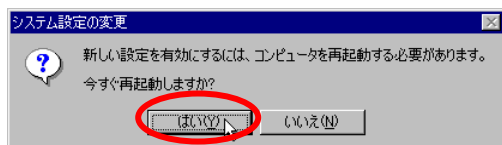


※本製品やハブを介して複数のパソコンを接続してワークグループを利用している場合、「TCP/IP上でNetBIOSを使用可能にする」のチェックを外すとファイルやプリンタの共有ができなくなります。ワークグループによってパソコンのファイルやプリンタを共有している場合は、表示された状態のまま、変更しないでください。

- ⑧ 「ネットワーク」画面に戻りますので、[OK] ボタンをクリックします。
WindowsのCD-ROMをセットするように表示されたら、画面の指示に従ってください。



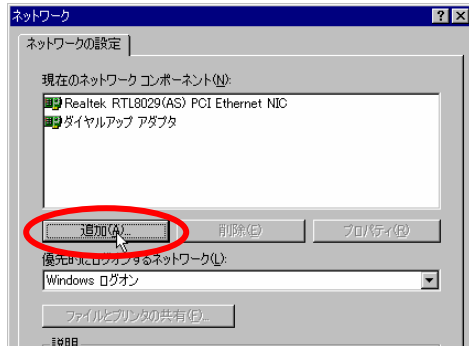
- ⑨ 再起動を求める画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。



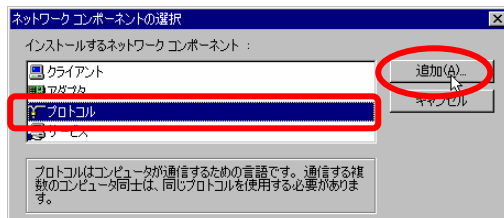
※TCP/IPが見つからないとき

「ネットワーク」画面の「現在のネットワークコンポーネント」一覧にTCP/IPが表示されていないときは、以下の手順でTCP/IPを追加します。

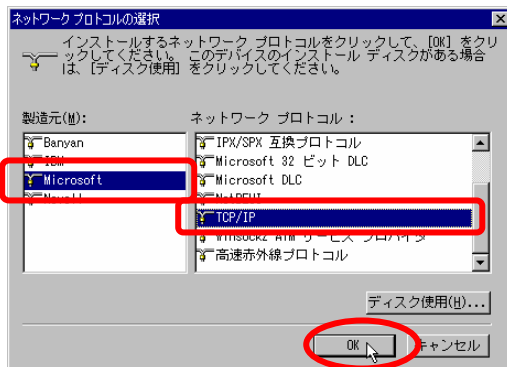
- ① 「ネットワーク」画面で [追加] ボタンをクリックします。



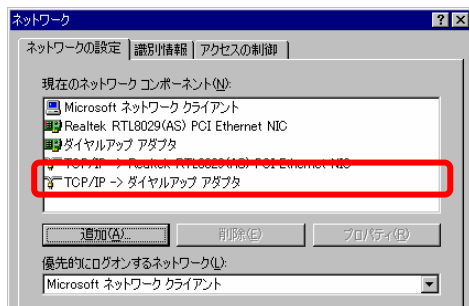
- ② 「ネットワークコンポーネントの選択」画面が表示されますので、「インストールするネットワークコンポーネント」一覧で「プロトコル」を選択して [追加] ボタンをクリックします。



- ③ [ネットワークプロトコルの選択] 画面が表示されますので、「製造元」一覧で「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」一覧で「TCP/IP」を選択して [OK] ボタンをクリックします。

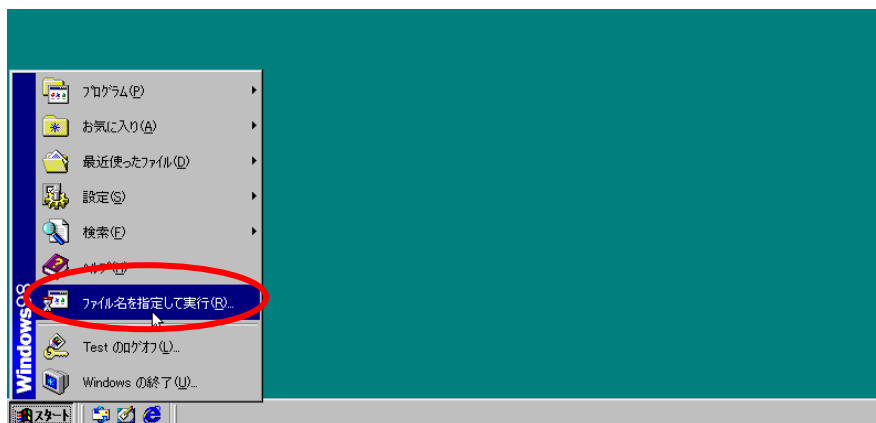


- ④ 「ネットワーク」画面に戻り、「TCP/IP-> (LANアダプタ名)」が追加されます。

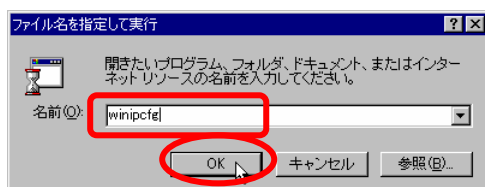


ネットワークの設定の確認

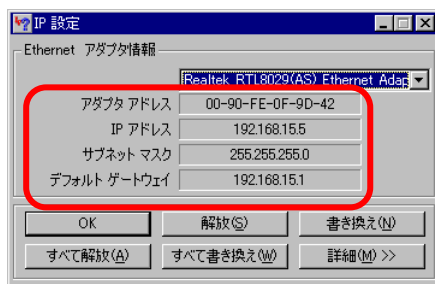
- ① [スタート] メニューから、[ファイル名を指定して実行] を選択します。



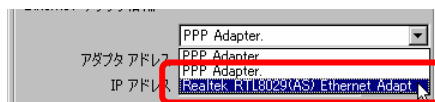
- ② 「ファイル名を指定して実行」画面で「winipcfg」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- ③ 「IP設定」画面が表示されます。



- ・「アダプタ情報」欄に「PPP Adapter」と表示されている場合は、リストからお使いのLANアダプタを選択します。



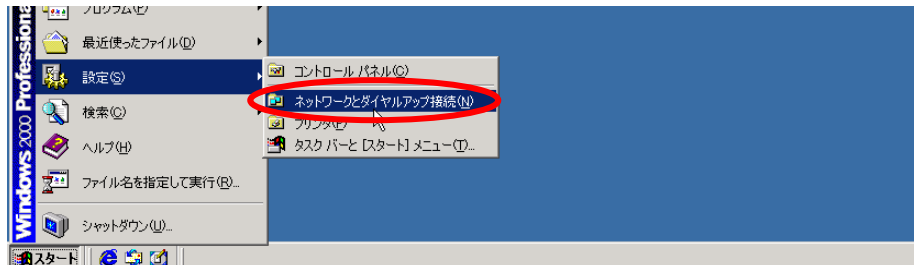
- ・「IPアドレス」欄が「192.168.15...」になっていれば正常です。IPアドレスが「0.0.0.0」になっていたり、「デフォルトゲートウェイ」が空欄になっている場合は、[開放] ボタンをクリックし、次に [書き換え] ボタンをクリックします。この操作でIPアドレスとデフォルトゲートウェイに数字が設定されれば正常です。

- ④ [OK] ボタンをクリックして、「IP設定」画面を閉じます。

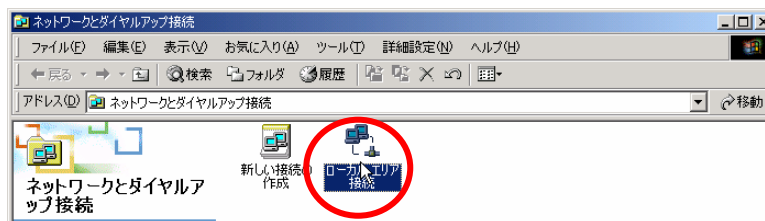
●パソコンの設定(B)Windows 2000の場合

ネットワークの設定

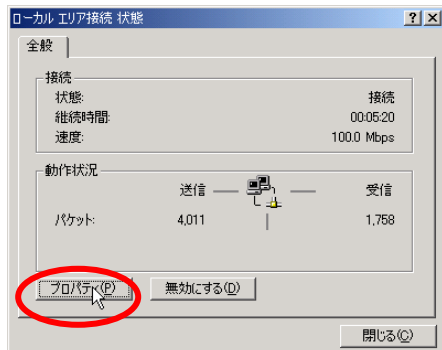
- ① [スタート] メニューから [設定] の [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択し、



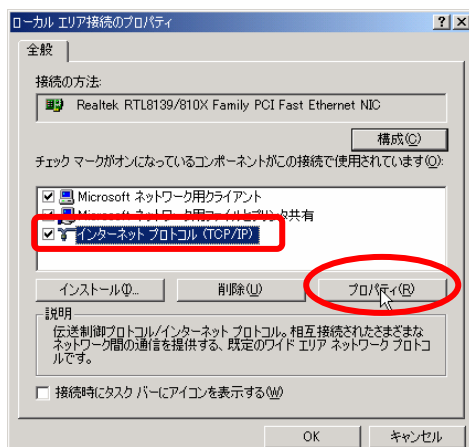
- ② 「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面で [ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。



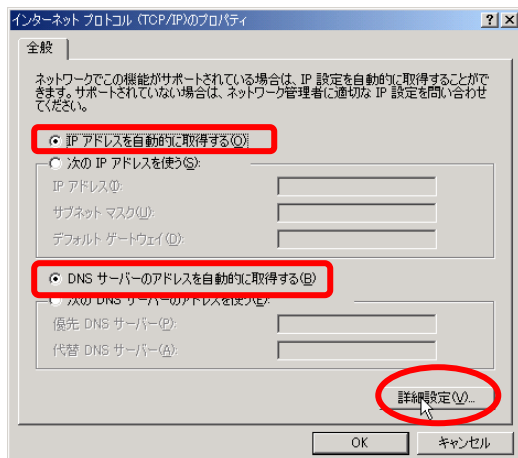
- ③ 「ローカルエリア接続 状態」画面が表示されますので、[プロパティ] ボタンをクリックします。



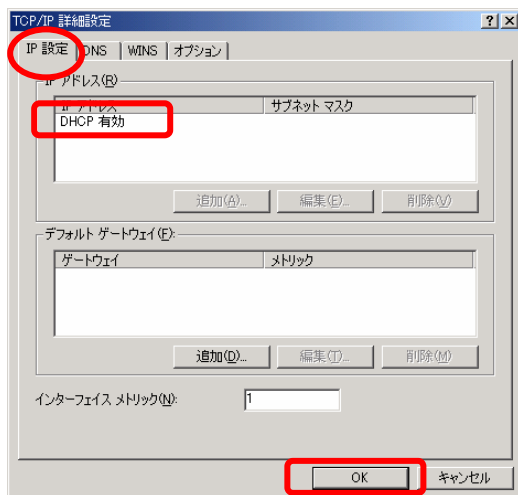
- ④ 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択して [プロパティ] ボタンをクリックします。



- ⑤ 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面で、「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。



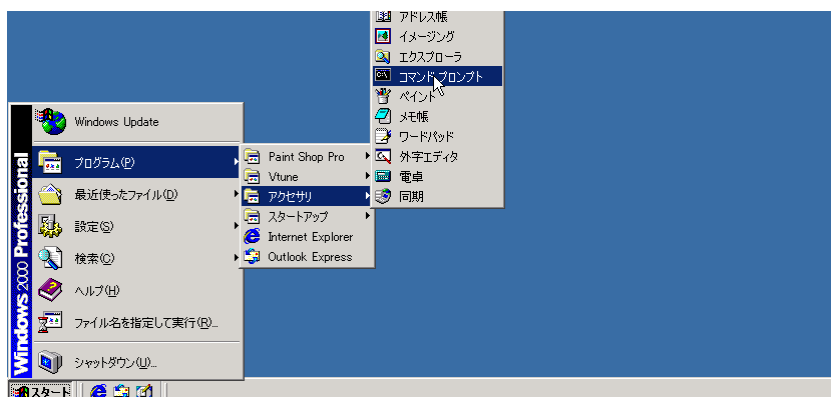
- ⑥ 「TCP/IP 詳細設定」画面で、「IP 設定」タブを開き、「IP アドレス」の一覧に「DHCP 有効」の項目があることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑦ 「今すぐコンピュータを再起動しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。

ネットワークの設定の確認

- ① [スタート] メニューから [プログラム] → [アクセサリ] → [コマンド プロンプト] を選択します。



- ② 「コマンドプロンプト」画面で、キーボードから「ipconfig」と入力して [Enter] キーを押します。現在のローカルエリア接続の設定内容が表示されます。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-1999 Microsoft Corp.

C:\>ipconfig

Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix  . : 
    IP Address. . . . . : 192.168.
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.
    Default Gateway . . . . . : 192.168.

C:\>
```

- ・ 「IP Address」が、「0.0.0.0」になっていたり、「Default Gateway」が空欄になっている場合は、キーボードから「ipconfig /renew」と入力して [Enter] キーを押します。この操作でIP AddressとDefault Gatewayに数字が設定されれば正常です。

```
コマンド プロンプト
(C) Copyright 1985-1999 Microsoft Corp.

C:\>ipconfig

Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix  . : 
    IP Address. . . . . : 192.168.
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.
    Default Gateway . . . . . : 192.168.

C:\>ipconfig /renew

Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

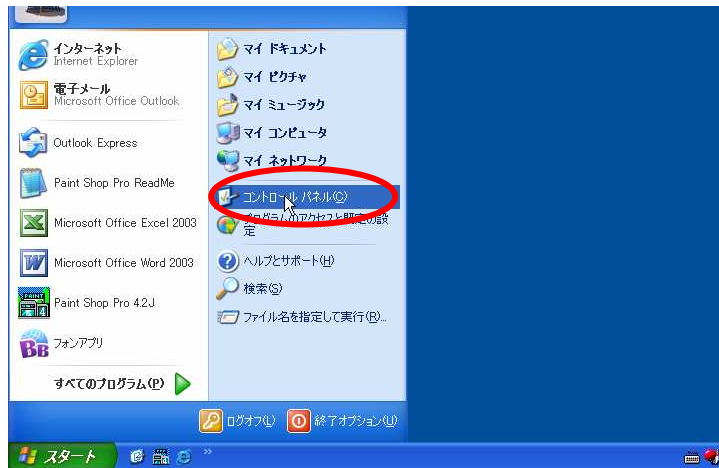
    Connection-specific DNS Suffix  . : 
    IP Address. . . . . : 192.168.
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.
    Default Gateway . . . . . : 192.168.

C:\>
```

●パソコンの設定(C)Windows XPの場合

ネットワークの設定

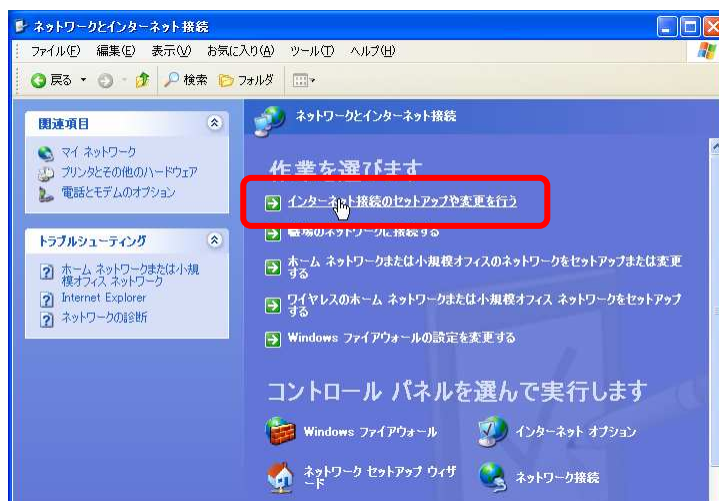
- ① [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択します。



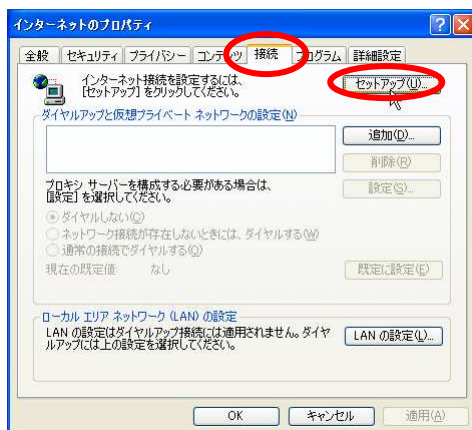
- ② 「コントロールパネル」画面で「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



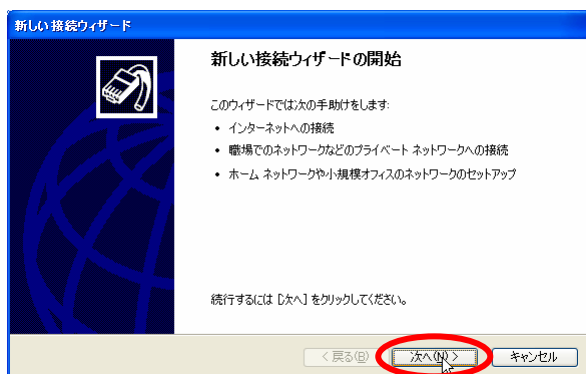
- ③ 「ネットワークとインターネット接続」画面で、「インターネット接続のセットアップや変更を行う」をクリックします。



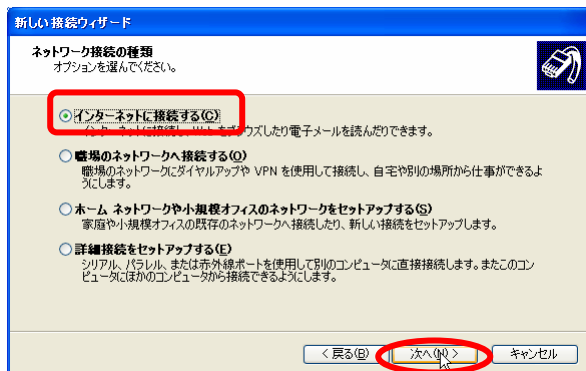
- ④ 「インターネットのプロパティ」画面で、[接続] タブを開き、[セットアップ] ボタンをクリックします。



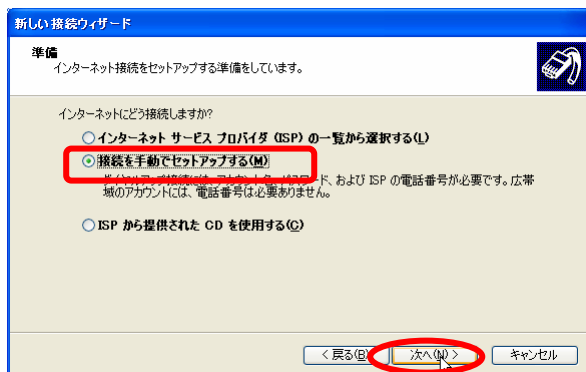
- ⑤ 「新しい接続ウィザード」画面が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。



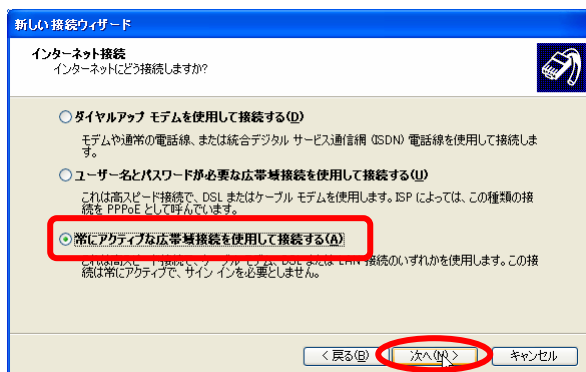
- ⑥ 「ネットワーク接続の種類」画面で「インターネットに接続する」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



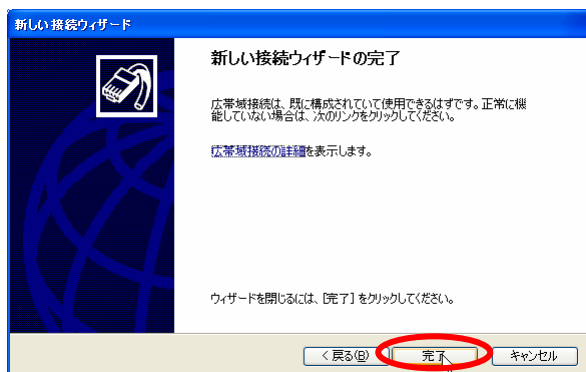
- ⑦ 「準備」画面で「接続を手動でセットアップする」を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



- ⑧ 「インターネット接続」画面で「常にアクティブな広帯域接続を使用して接続する」を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

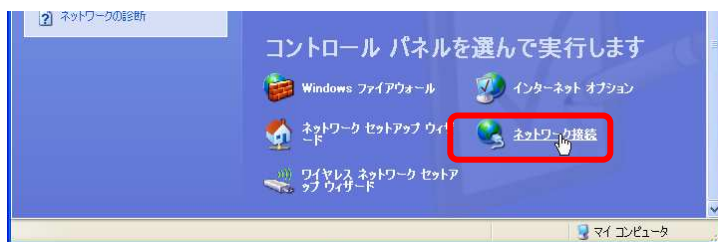


- ⑨ 「新しい接続ウィザードの完了」画面で、[完了] ボタンをクリックします。

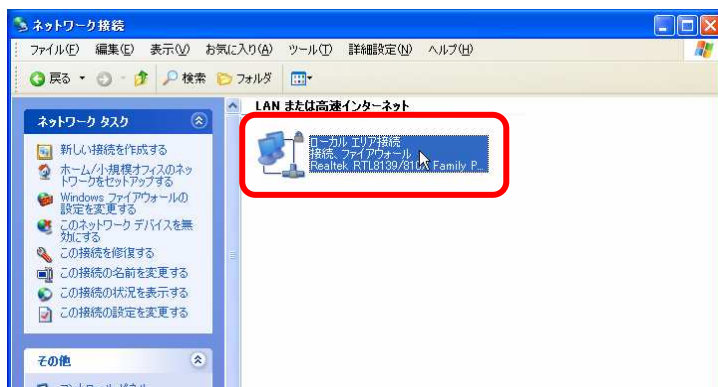


ネットワークの設定の確認

- ① [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、「ネットワークとインターネット接続」をクリックして「ネットワーク接続」をクリックします。



- ② 「ネットワーク接続」画面で、「LANまたは高速インターネット」の中にある「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。



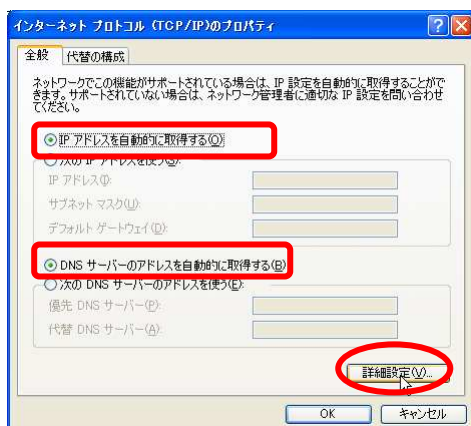
- ③ 「ローカルエリア接続の状態」画面で、「プロパティ」ボタンをクリックします。



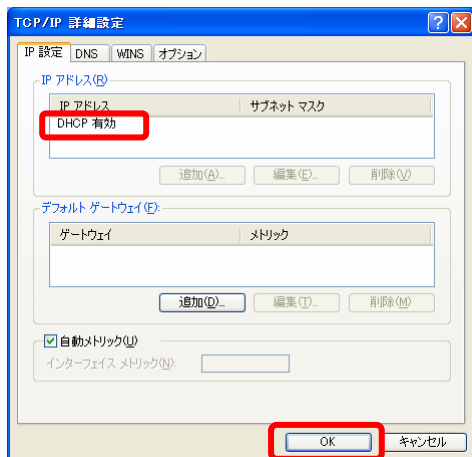
- ④ 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面の「全般」タブで、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択して「プロパティ」ボタンをクリックします。



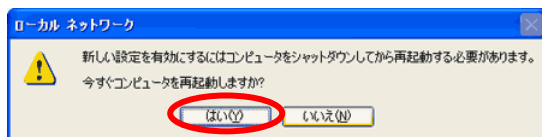
- ⑤ 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面の「全般」タブで「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認して「詳細設定」ボタンをクリックします。



- ⑥ 「TCP/IP詳細設定」画面の「IP設定」タブで、「IPアドレス」の一覧に「DHCP 有効」の項目があることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

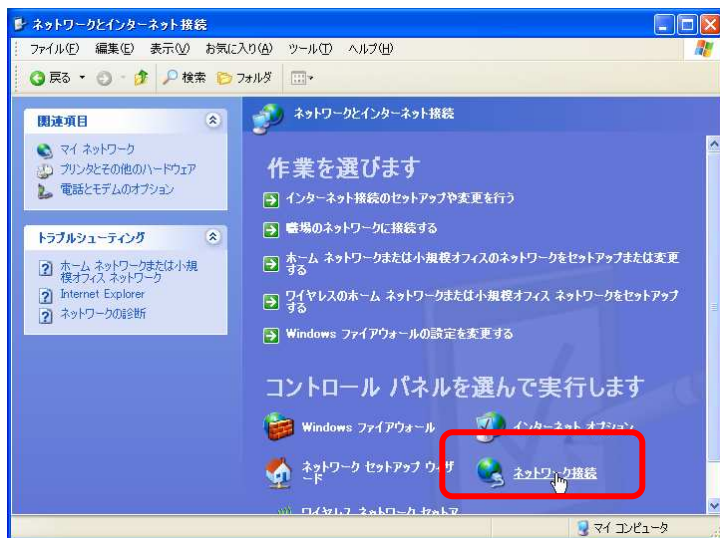


- ⑦ 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」で [OK] ボタンをクリックし、「ローカルエリア接続の状態」画面で [閉じる] ボタンをクリックします。
- ⑧ 「今すぐコンピュータを再起動しますか？」と表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。



ネットワークの確認

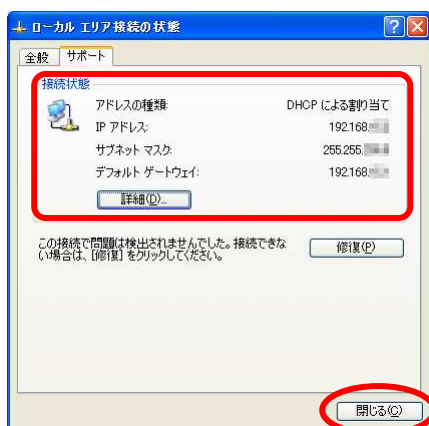
- ① [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、「ネットワークとインターネット接続」をクリックして「ネットワーク接続」をクリックします。



- ② 「ネットワーク接続」画面で、「LANまたは高速インターネット」の中にある「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。



- ③ 「ローカルエリア接続の状態」画面で、「サポート」タブをクリックします。



- ・「IPアドレス」欄が「192.168.15.…」になっていれば正常です。IPアドレスが「0.0.0.0」になっていたり、「デフォルトゲートウェイ」が空欄になっている場合は、[修復] ボタンをクリックします。修復が完了したら [閉じる] ボタンをクリックします。

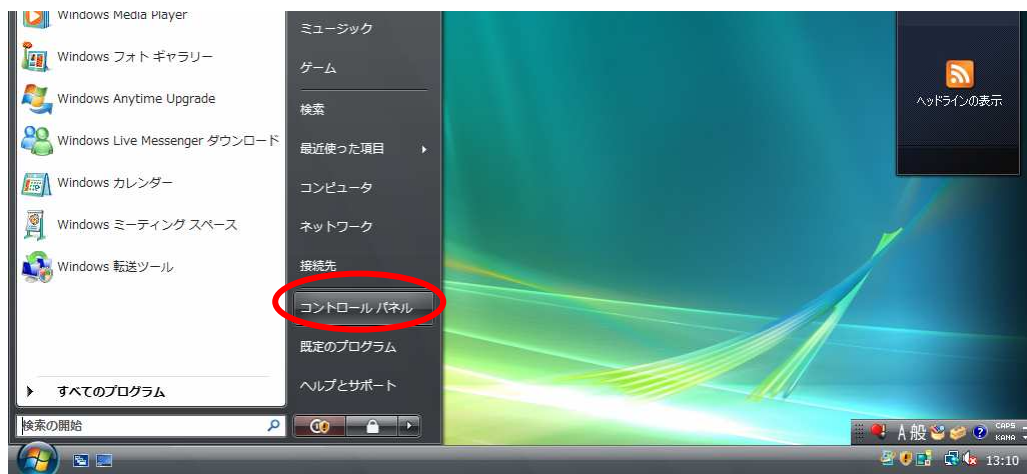
●パソコンの設定(D)Windows Vistaの場合

Windows Vistaでは、「●接続方法」（8ページ以降）で述べた接続方法で本製品とパソコンを接続し、機器の電源を入れれば、インターネットへの接続が可能になります。

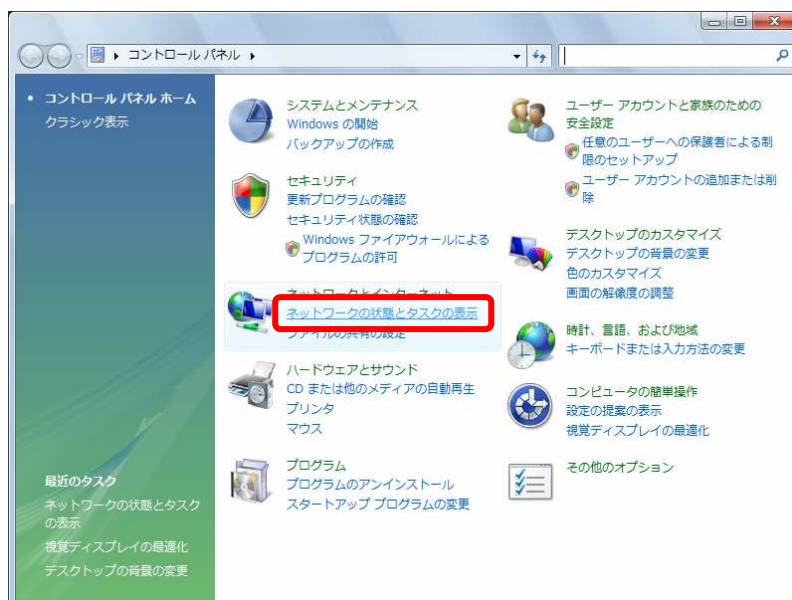
設定内容の確認

LANケーブルで本製品と接続してもインターネットへの接続ができない場合、以下の方法で設定内容を確認してください。

- ① [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択します。



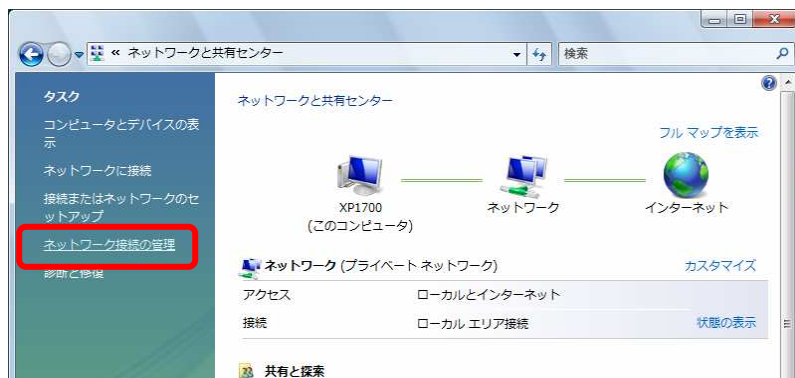
- ② 「コントロールパネル」画面で「ネットワークの状態とタスクの表示」を選択します。



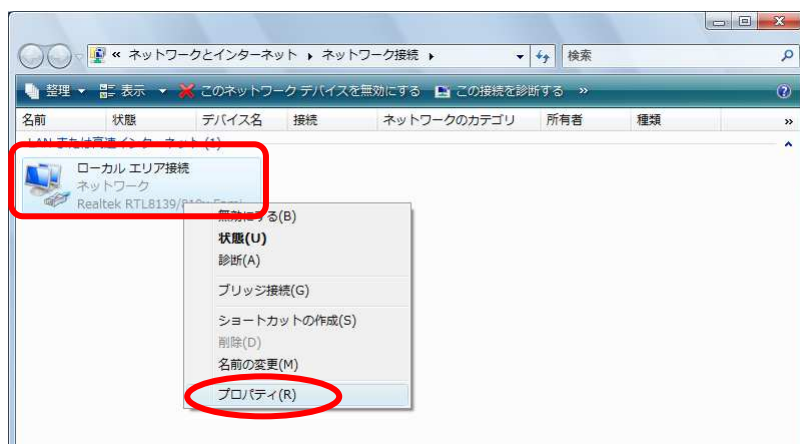
※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。



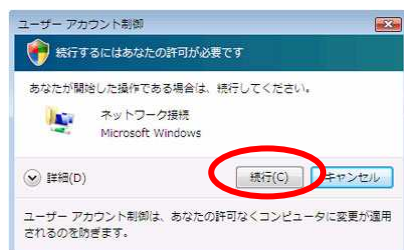
- ③ 「ネットワークと共有センター」画面で、「ネットワーク接続の管理」を選択します。



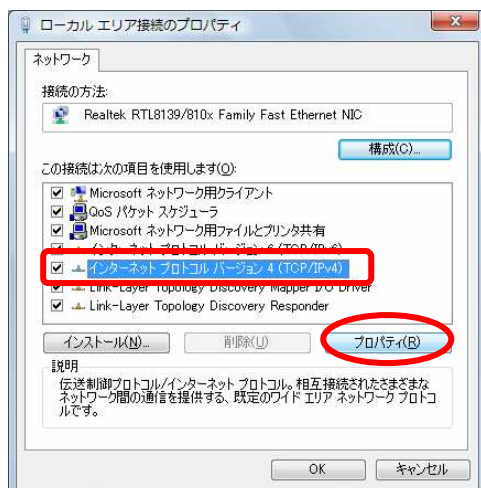
- ④ 「ネットワーク接続」画面で「ローカルエリア接続」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。



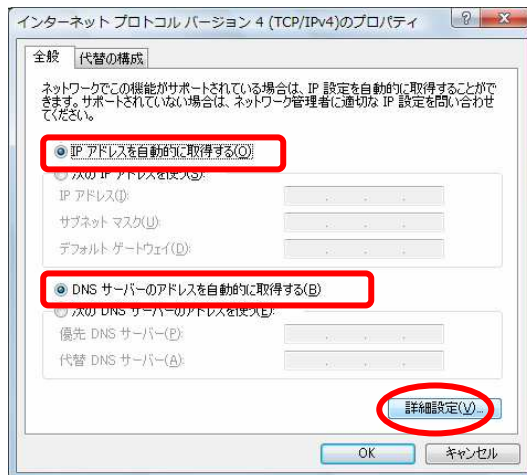
- ⑤ 「ユーザーアカウント制限」画面が表示されますので、「続行」ボタンをクリックします。



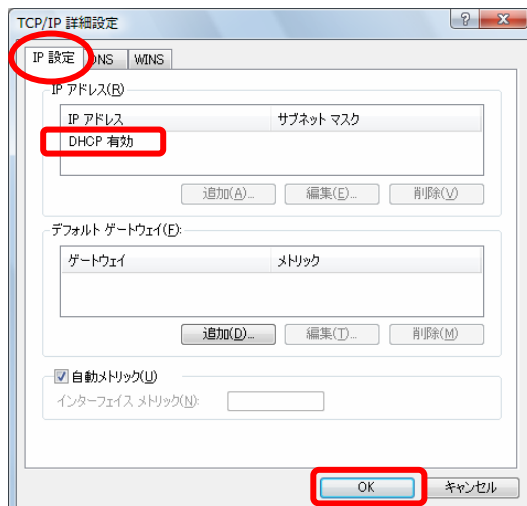
- ⑥ 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で、「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IP v4)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



- ⑦ 「インターネットプロトコル バージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面の「全般」タブで「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認して「詳細設定」ボタンをクリックします。



- ⑧ 「TCP/IP詳細設定」画面の「IP設定」タブで、「IPアドレス」の一覧に「DHCP 有効」の項目があることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



●パソコンの設定(E)Mac OS 9.1以降の場合

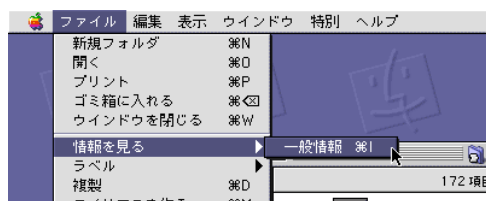
Open Transportのバージョンの確認

本製品を使用するためには、「Open Transport」のバージョンが2.7以上であることが必要です。まず、インストールされている「Open Transport」のバージョンの確認を行います。

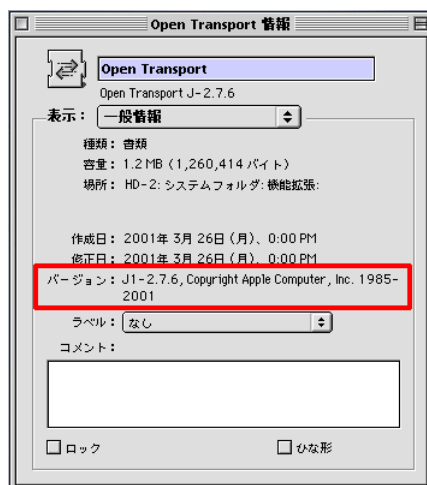
- ①Mac OS 9.1以降を起動して、ハードディスクアイコンをダブルクリックまたはクリックします。次に「システムフォルダ」をダブルクリックして開き、その中にある「機能拡張」フォルダをダブルクリックします。



- ②「機能拡張」フォルダの中から「Open Transport」という書類をクリックして、メニューバーから「ファイル」→「情報を見る」→「一般情報」を選択します。



- ③「Open Transport情報」画面で、Open Transportのバージョンが2.7以上であることを確認します。



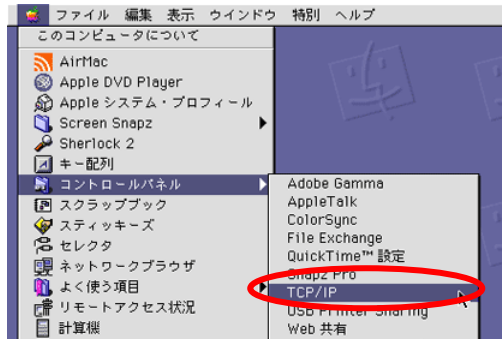
- ④確認が終わったらウィンドウを閉じます。

※ Open Transportのバージョンが2.7以上でなかった場合は、アップルのホームページでアップデートをダウンロードして使用してください。

インターネット接続の設定

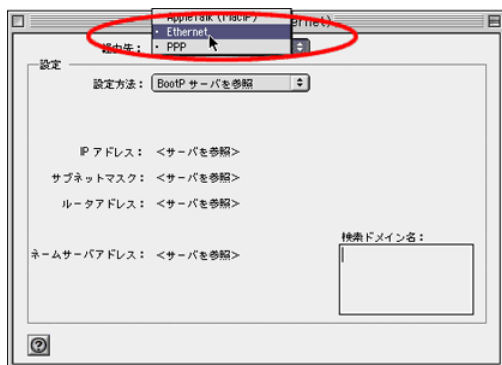
Open Transportのバージョンを確認したら、インターネットの接続を設定します。

- ① [アップル] メニューから [コントロールパネル] → [TCP/IP] を選択して、「TCP/IP設定」ウィンドウを開きます。



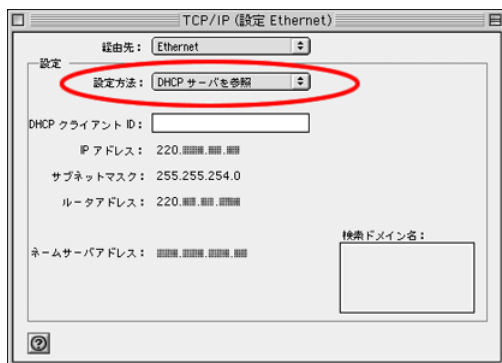
※ [アップルメニューオプション] で [サブメニュー] の機能をオフにしている場合はアップルメニューから [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルのウィンドウが表示されてから [TCP/IP] をダブルクリックします。

- ② 「TCP/IP設定」ウィンドウの「経由先」リストで、「Ethernet」を選択します。

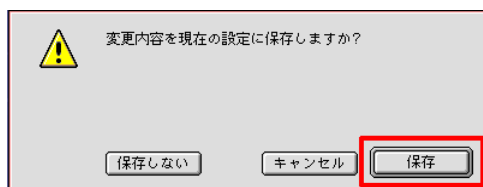


※ 「TCP/IP設定」ウィンドウの設定が変更できない場合は40ページを参照してください。

- ③ 「TCP/IP設定」ウィンドウの「設定方法」リストで、「DHCPサーバを参照」を選択します。



- ④ 「TCP/IP設定」ウィンドウを閉じます。「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示されたら [保存] を選択します。

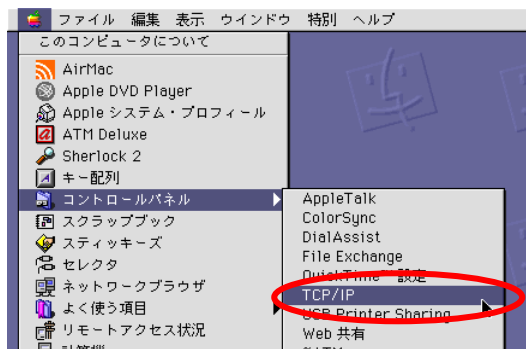


以上でパソコンの設定は完了です。念のため正しく設定が行われているかどうか確認してください

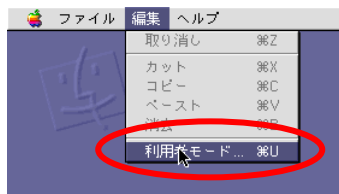
※「TCP/IP設定」ウィンドウの設定が変更できない場合

ご利用のシステム内に以前のダイヤルアップ設定が残っている場合などに、「TCP/IP設定」ウィンドウで「経路先」や「接続方法」が変更できない場合があります。これは、設定がロックされているために発生する現象です。以下の方法で対処してください。

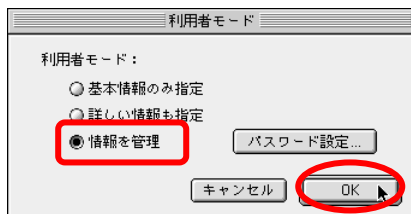
- ① [アップル] メニューから [コントロールパネル] → [TCP/IP] を選択します。



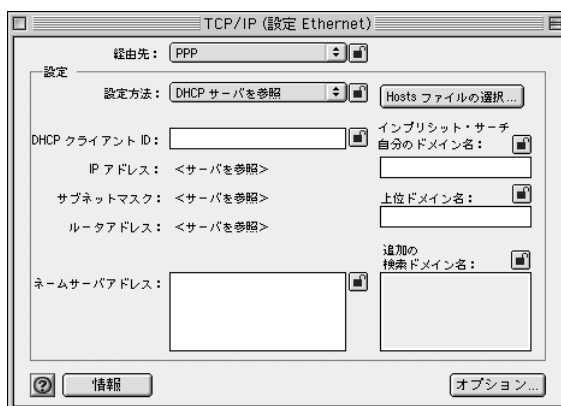
- ② 「TCP/IP設定」ウィンドウが開いたら、メニューバー [編集] を選択し、[利用者モード...] をクリックします。



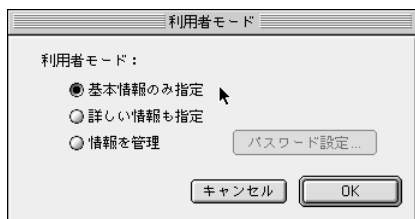
- ③ 「利用者モード」ウィンドウで「情報を管理」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



- ④ 「TCP/IP設定」ウィンドウ内の各設定項目に、カギのボタンが表示されるようになります。このボタンをクリックし、変更する必要がある項目のロックを外します。



- ⑤以上の作業で、「経路先」「接続方法」などの設定が行えるようになります。設定が終了したら、必要に応じて、「利用者モード：」を「基本情報のみ指定」に戻してください。



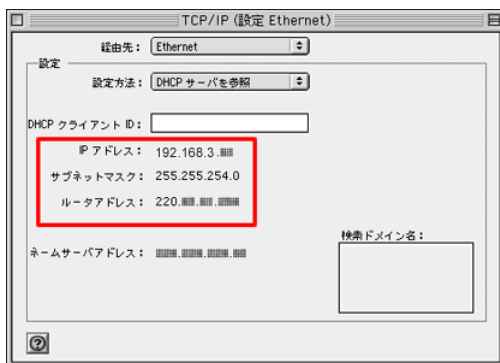
※「利用者モード：」を「基本情報のみ指定」に戻さなくても、利用上の問題はありません。

設定内容の確認

- ① [アップル] メニューから [コントロールパネル] → [TCP/IP] を選択して、「TCP/IP」の設定ウィンドウを開きます。

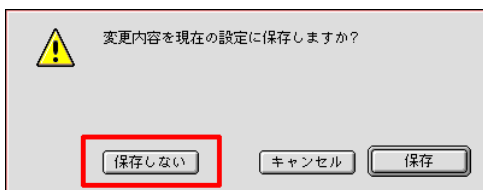


- ② 「TCP/IP設定」ウィンドウで、自動的に設定される「IPアドレス」「サブネットマスク」「ルータアドレス」を確認します。IPアドレスが「192.168.15.…」で始まっていれば正常です。



※画面のIPアドレス等は表示の一例です。

- ③ 「TCP/IP設定」ウィンドウを閉じます。
このとき、「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示されたら「保存しない」を選択します。



●パソコンの設定(F)Mac OS Xの場合

ネットワークの設定

- ① Dock上の [System Preferences] アイコンをクリックして、[システム環境設定] を開きます。

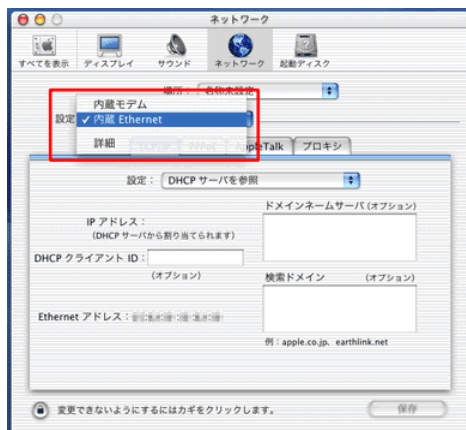


※Mac OS X の標準状態では、Dockに [システム環境設定] のアイコンが登録されています。Dock から削除してしまった場合は [アップル] メニューから [システム環境設定] を選択します。

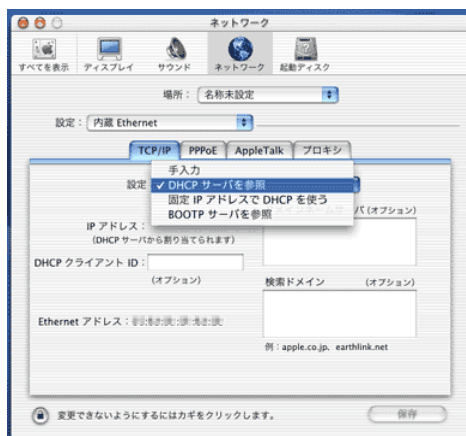
- ② [システム環境設定] のウィンドウから [ネットワーク] をクリックします。



- ③ [ネットワーク] のウィンドウのタブの上にある [設定] リストから「内蔵 Ethernet」を選択します。

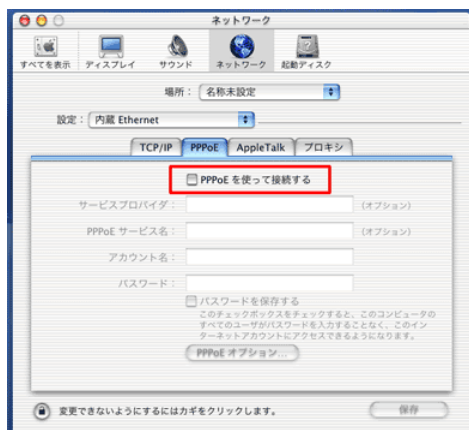


- ④ [TCP/IP] タブをクリックし、TCP/IPの設定画面を表示して次のように設定します。

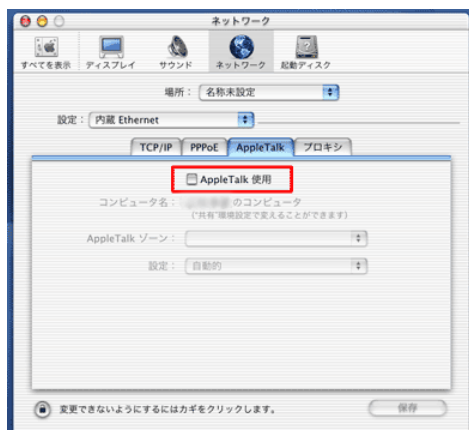


項目	設定内容
設定	「DHCPサーバを参照」
DHCPクライアントID	空白
ドメインネームサーバ	空白
検索ドメイン	空白

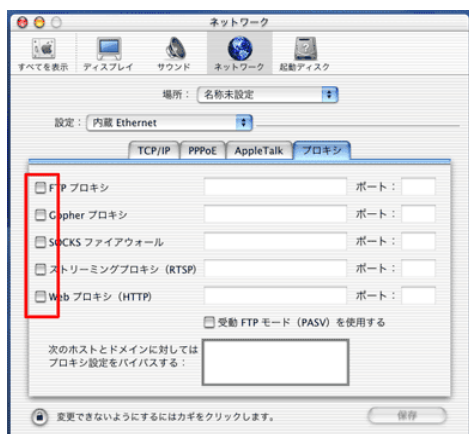
- ⑤ [PPPoE] タブをクリックし、PPPoEの設定画面を表示します。本製品は、PPPoEを使用しないため、「PPPoEを使って接続する」にチェックマークがついている場合はチェックを外します。



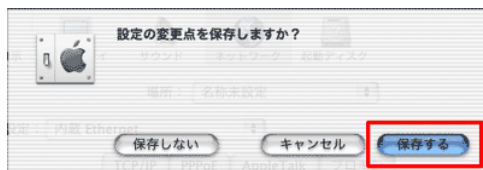
- ⑥ [AppleTalk] タブをクリックし、AppleTalkの設定画面を表示します。「AppleTalk使用」にチェックマークがついている場合は、チェックを外します。



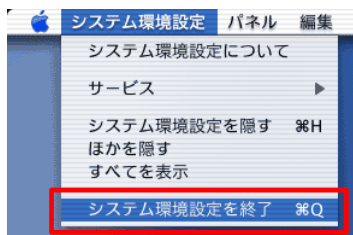
- ⑦ [プロキシ] タブをクリックし、プロキシの設定画面を表示します。「FTPプロキシ」「Gopherプロキシ」「SOCKSファイアウォール」「ストリーミングプロキシ (RTSP)」「Webプロキシ (HTTP)」にチェックマークがついている場合は、すべてのチェックを外します。



- ⑧ ネットワーク設定を終了するとき変更した部分があった場合は、右下の「保存」ボタンをクリックします。また、「保存」ボタンをクリックしないでほかの設定を行う場合、「設定の変更点を保存しますか？」というメッセージが表示されるので、「保存する」をクリックします。



- ⑨ メニューバーの「システム環境設定」→「システム環境設定を終了」を選択してシステム環境設定を終了します。



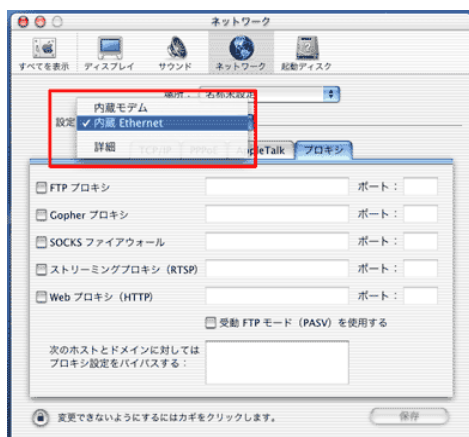
以上でパソコンの設定は完了です。念のため正しく設定が行われているかどうか確認してください。

設定内容の確認

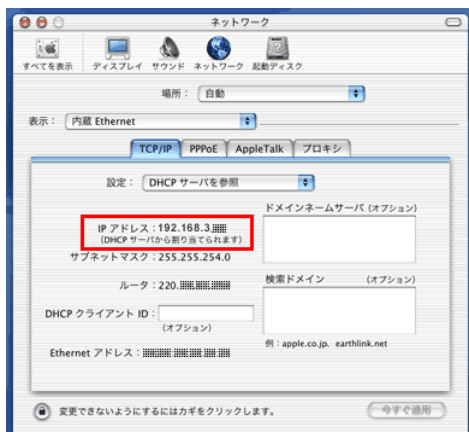
- ① Dock上の「System Preferences」アイコンをクリックして、「システム環境設定」ウィンドウを開き、「システム環境設定」ウィンドウから「ネットワーク」をクリックします。



- ② タブの上のほうにある「設定」リストより、「内蔵 Ethernet」を選択します。

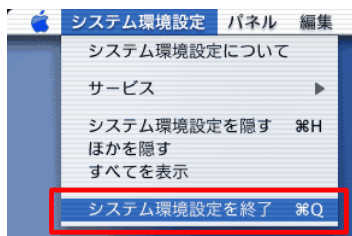


- ③ [TCP/IP] タブをクリックし、TCP/IPの設定画面を表示してIPアドレスが割り当てられていることを確認します。IPアドレスが「192.168.15…」で始まっていれば正常です。



※画面のIPアドレス等は表示の一例です。

- ④ メニューバーの [システム環境設定] → [システム環境設定を終了] を選択してシステム環境設定を終了します。



無線LANの設定 (無線LANパックをお申し込みの方のみ)

設定手順

- ①有線LANによるパソコンの接続
- ②無線LANカードの装着
- ③簡単セキュリティの設定
- ④パソコンのセキュリティを設定
- ⑤無線LANによる接続

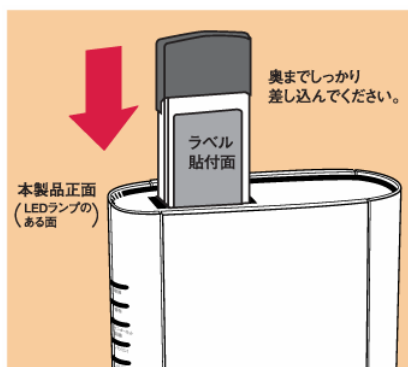
※⑤で無線LANによる設定が確認できたら、①で接続したLANケーブルはパソコンから取り外してもかまいません。

●有線LANによるパソコンの接続

本製品の設定は、本製品にLANケーブルで接続したパソコンでMicrosoft Internet Explorer（以下Internet Explorer）で行います。本書の操作を行う前に、「セットアップ」（7ページ以降）で説明した作業を行って、LANケーブルで接続したパソコンから本製品にアクセスできるようにしてください。

●無線LANカードの装着

- ①本製品の電源を切ります。
- ②本体に無線LANカードを装着します。



- ③本製品の電源を入れます。
前面パネルの「無線LAN」ランプが点灯すれば、装着は正常に行われました。

●簡単設定で基本セキュリティを設定する

無線LAN簡単設定モードについて

本製品は、出荷状態（初期値）のままでも使用できますが、無線LANを安全にご利用いただくために、「簡単設定モード」で基本的なセキュリティを設定してご利用ください。

「簡単設定モード」では以下の2つを設定します。

●SSIDの設定

SSID（Service Set Identifier）は、無線LANのアクセスポイントを識別するための名前です。複数の無線LANネットワークが存在するとき、接続するネットワークを識別するために使います。

SSIDは英数字32文字以内で設定します。

●WEPによる送受信データの暗号化

WEP（Wired Equivalent Privacy）は、無線LANで送受信されるデータの暗号化方式の1つです。WEPによって暗号化することにより、無線LANで送受信するデータを他人が傍受してもわからないようにすることができます。

WEPでは、無線LANアクセスポイントと無線LANアダプタ（パソコン）の両方に同じWEPキー（キーワード）を設定することで、そのWEPキーが設定されていないパソコンで、データの内容を閲覧できないようにすることができます。

※その他の設定について

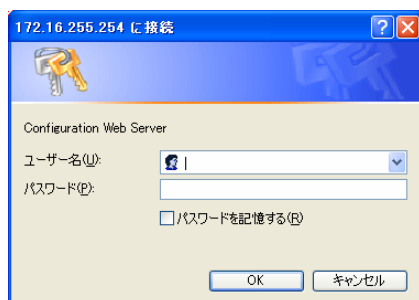
SSIDおよびWEP以外の設定は「詳細設定モード」で設定します。詳細は「詳細な機能の設定をする」（56ページ）を参照してください。

操作手順

- ①本製品にLANケーブルで接続したパソコンでInternet Explorerを起動し、アドレス欄に以下のように入力して [Enter] キーを押します。

<http://172.16.255.254/>

- ②Webブラウザに以下の認証画面が表示されます。



- ③ユーザー名とパスワードを次のように入力して、[OK] ボタンをクリックします。

ユーザー名 : user

パスワード : user

※「user」はすべて半角英小文字で入力します。

- ④ Webブラウザに「セットアップメニュー」画面が表示されますので、[簡単設定モード] ボタンをクリックします。

セットアップメニュー

設定モード選択

簡単設定モード	無線LANのSSID、WEP機能のみを設定します。
設定確認	SSIDと暗号化の設定状況の確認をします。

詳細設定モード	全ての機能を設定します。(上級者向け)
----------------	---------------------

WANポートステータス

- ⑤ 「簡単設定メニュー」の「SSIDの設定」画面が表示されます。
ここで、表示されている「User」を消して、新しいSSID（任意の文字）を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

簡単設定メニュー

ステップ: ①SSIDの設定 → ②暗号化の設定(WEPキーの設定) → ③設定の確認(保存と再起動)

① 無線LANのSSID(ネットワーク名)を入力してください。

SSID: ← 新しいSSIDを入力 (例)

半角32文字・全角16文字以下です。
SSIDは、「*」(半角ダブルコーテーション)のみ使用できません。
お好きな文字列を設定することが可能ですが、個人名や電話番号など、個人を特定できる文字列は使用しないでください。

よろしければ、下のボタンをクリックし、次へお進みください。

Copyright© 2005 SOFTBANK BB Corp. All rights reserved.

※SSIDの初期値は「User」に設定されています。

- ⑥ 「暗号化の設定」画面が表示されます。
「暗号化の種類を選択してください」の下に表示されている中から利用する暗号化方式を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

簡単設定メニュー

ステップ: ①SSIDの設定 → ②暗号化の設定(WEPキーの設定) → ③設定の確認(保存と再起動)

② 暗号化の種類を選択してください。

☐ 暗号化: 使用しない

☒ WEP: 64(40)bits 英数字(ASCII): 5文字

☐ WEP: 64(40)bits 16進数: 10桁

☐ WEP: 128(104)bits 英数字(ASCII): 13文字

☐ WEP: 128(104)bits 16進数: 26桁

64bitよりも128bitがより高度な暗号化ですが、通信速度が低下します。

よろしければ、下のボタンをクリックし、次へお進みください。

Copyright© 2005 SOFTBANK BB Corp. All rights reserved.

※本製品は次の暗号化方式(WEP)のうち、1つを選択して暗号化することができます。選択した暗号化の種類に応じて、設定するWEPキーの形式が異なります。

方式	WEPキーの設定方法
WEP : 64 (40) bis 英数字 (ASCII)	5文字の半角英数字
WEP : 64 (40) bis 16進数	10桁の16進数 (0~9およびA~F)
WEP : 128 (104) bis 英数字 (ASCII)	13文字の半角英数字
WEP : 128 (104) bis 16進数	26桁の16進数 (0~9およびA~F)

※WEPは無線LAN機器が標準で備える暗号化方式です。暗号のキー（WEPキー）の長さ（ビット数）の違いによって「WEP64bits」と「WEP128bits」があり、WEPキーで使用する文字によって、それぞれに「英数字」と「16進数」があります。

※WEP128bitsは、WEP64bitsよりもキーが長いので解読が困難ですが、多少通信速度が遅くなります。

※「半角英数字」と「16進数」は機能的な違いはありません。利用しやすい方式を選択してください。

※暗号化の初期値は「使用しない」に設定されています。

- ⑦WEPキーの設定画面が表示されますので、⑥で選択した暗号化方式に対応した形式で、WEPキーを入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

簡単設定メニュー

ステップ: ①SSIDの設定 → ②暗号化の設定(WEPキーの設定) → ③設定の確認(保存と再起動)

②WEPキーを英数字(ASCII)にて、5文字を半角で入力してください。

WEPキー ← WEPキーを入力

半角英数字文字列(ASCII)(0~9, 小文字a~z, 大文字A~Zの英数字を半角入力してください。記号は使用できません。)

よろしければ、下のボタンをクリックし、次へお進みください

- ⑧「設定の確認」画面が表示されます。

画面に表示されたSSID、暗号化の種類、WEPキーを確認し、内容に間違いがなければ「設定の保存と再起動」ボタンをクリックします。

簡単設定メニュー

ステップ: ①SSIDの設定 → ②暗号化の設定(WEPキーの設定) → ③設定の確認(保存と再起動)

【重要】このページで設定した内容はパソコンの設定時に必要となりますので、下記の設定した内容一覧を必ずメモをお取りください。

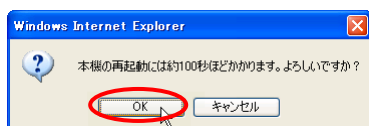
設定した内容一覧

SSID	MyHomeLAN
暗号化の種類	WEP:64(40)bits 英数字(ASCII):5文字
WEPキー	aiueo

} 設定内容を確認

以上の設定にてよろしければ、下のボタンをクリックし、本機の設定の保存と再起動を行って下さい。
なお、再起動中は本画面および本機にアクセスできませんのでご注意ください。

- ⑨再起動状態を確認する画面が表示される場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



- ⑩画面に「システムは再起動しています。約100秒ほどお待ちください」と表示され、約100秒すると、「セットアップメニュー」画面が表示されます。

「セットアップメニュー」が表示されると、簡単セットアップは終了し、設定した内容が有効になります。

●パソコンのセキュリティ設定

無線LANでパソコンからアクセスするためには、パソコンに無線LANアダプタが装着、または内蔵されている必要があります。

以下では、お使いのパソコンの無線LAN機能内蔵の有無の確認方法を説明します。

無線LAN機能内蔵の確認方法

以下のいずれかの方法で、お使いのパソコンに無線LAN機能が内蔵されているかどうかを確認してください。

A)パソコンの説明書による無線LAN機能内蔵の有無の確認

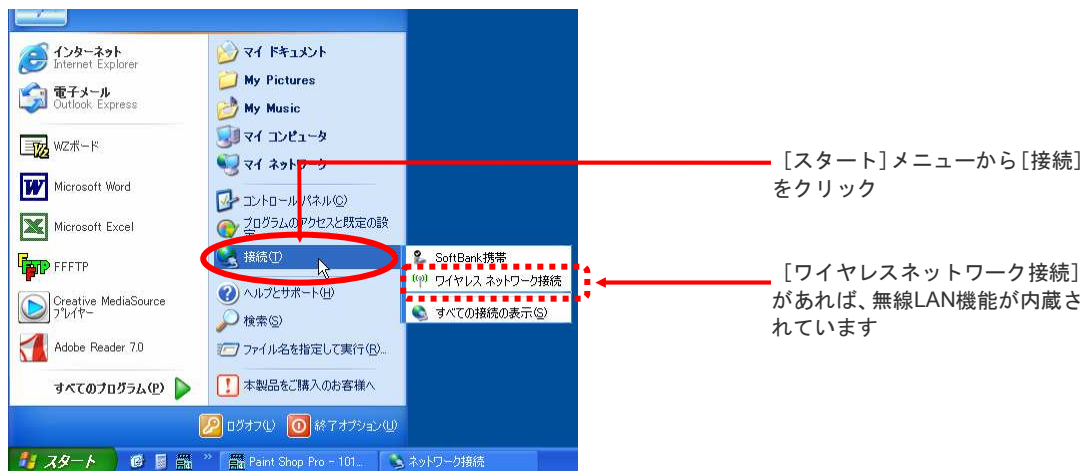
本製品は「IEEE802.11b」または「IEEE802.11g」方式の無線LANに対応しています。

無線LANでアクセスしようとするパソコンの説明書を参照し、上記の無線LANに対応しているかどうかを確認してください。

B)Windowsによる確認

WindowsXPの場合、以下の方法で確認できます。

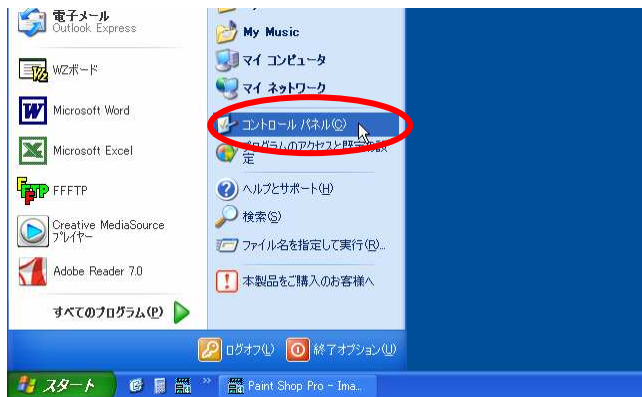
- ①Windowsの「スタート」メニューから「接続」を選択します。
- ②メニューに「ワイヤレスネットワーク接続」が表示されれば、パソコンに無線LAN機能が内蔵されています。



※ [スタート] メニューに [接続] が表示されていない場合

[スタート] メニューに [接続] が表示されていない場合は、以下の方法で「ネットワーク接続」を開いて確認できます。

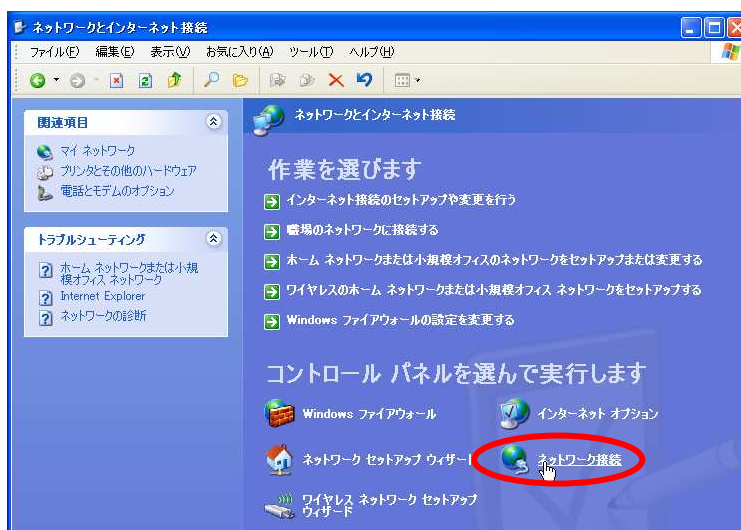
- ① [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択します。



- ② 「コントロールパネル」が表示されますので、「ネットワークとインターネット接続」を選択します。

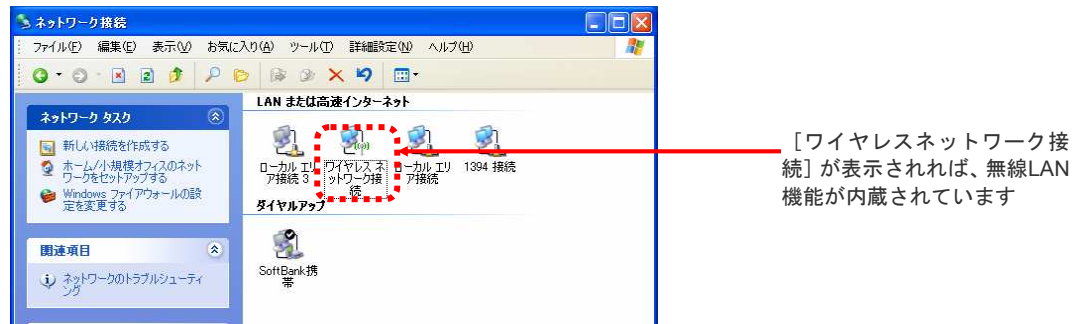


- ③ 「ネットワーク接続」を選択します。



④「ネットワーク接続」ウィンドウが開きます。

「ワイヤレスネットワーク接続」のアイコンが表示されていれば、このパソコンは無線LAN機能が内蔵されています。



●無線LAN機能が無効となっている場合

ノートパソコンの場合、機種によっては [Fn] キーといっしょに他のキー（[F2] など）を押すことで、無線LAN機能の有効／無効を切り替えられるものがあります。この場合、キー操作で「無効」になっていると、無線LANが利用できませんので、必ず「有効」にしてください。

キー操作による無線LANの有効／無効の切り替えについては、お使いのパソコンの説明書を参照してください。

パソコンへの無線LANアダプタの装着と設定

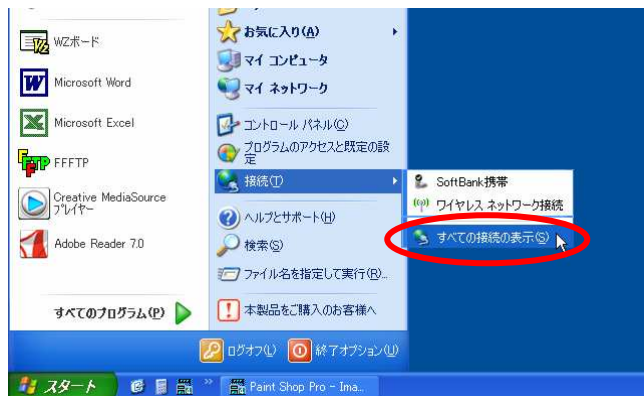
お使いのパソコンに無線LAN機能が内蔵されていない場合は、別途無線LANアダプタをお買い求めのうえお使いのパソコンに装着し、必要な設定を行ってください。

無線LANアダプタの装着方法、設定方法については、ご利用の無線LANアダプタの説明書を参照してください。

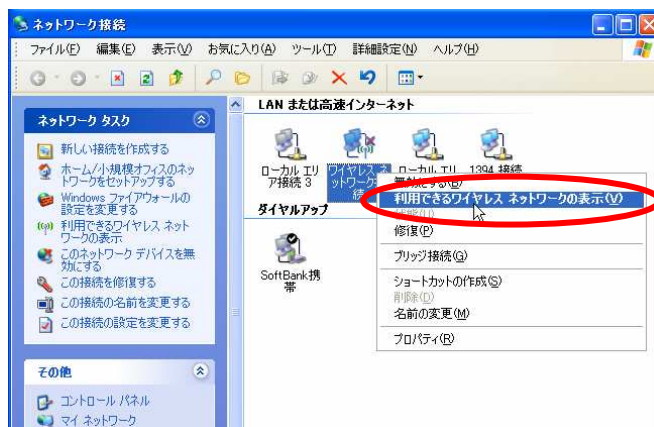
●無線LANによる接続

複数の無線LANネットワークが存在する場合は、本製品に設定したSSIDのネットワークを選択して接続します。また、本製品にWEPによる暗号化を設定した場合、パソコン側も同じWEPキーを設定して接続します。ここでは、Windows XPでの設定手順を説明します。

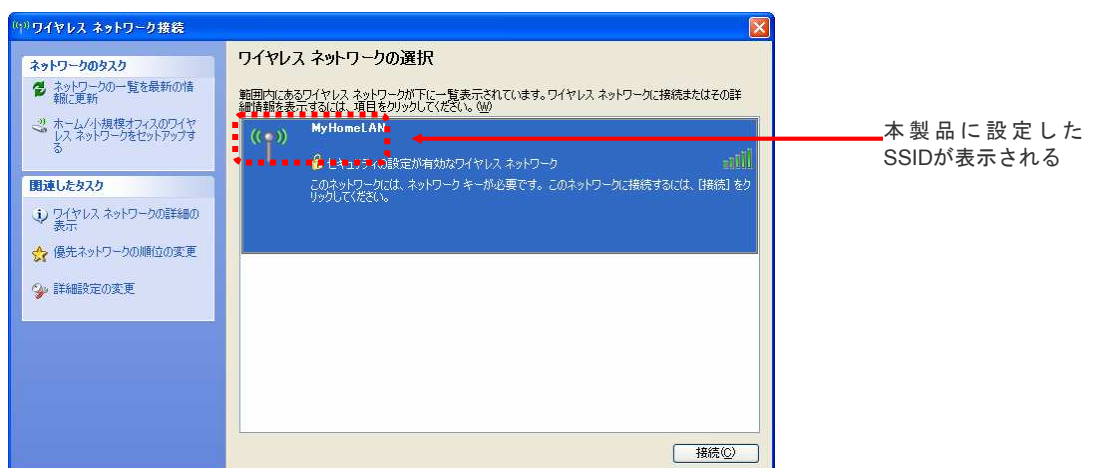
- ① [スタート] メニューから [接続] の [すべての接続の表示] を選択します。



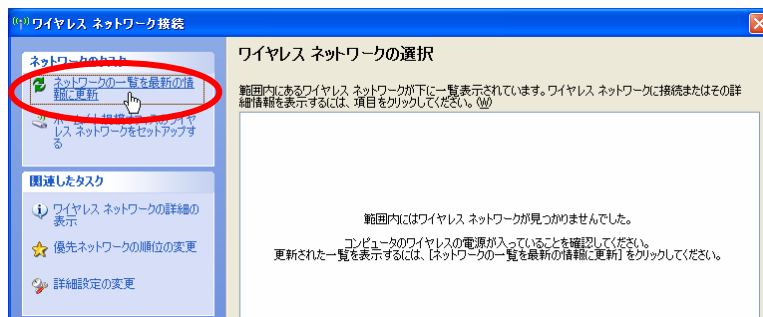
- ② 「ネットワーク接続」ウィンドウが開きますので、「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから [利用できるワイヤレスネットワークの表示] を選択します。



- ③ 「ワイヤレスネットワーク接続」ウィンドウが開きます。

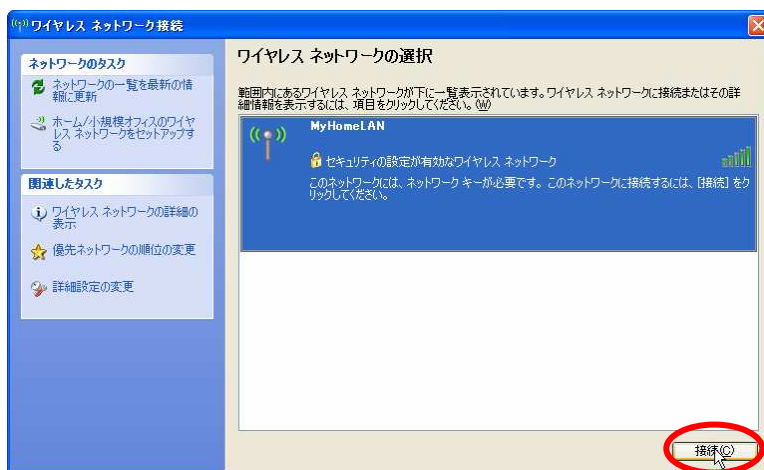


※「ワイヤレスネットワーク接続」ウィンドウに「範囲内にはワイヤレスネットワークは見つかりませんでした」と表示されたときは、ウィンドウ左上の「ネットワークの一覧を最新の状態に更新」をクリックして、ネットワークの情報を更新してください。正常に無線LANの電波が届いていれば、上記のようにネットワークのSSIDが表示されます。



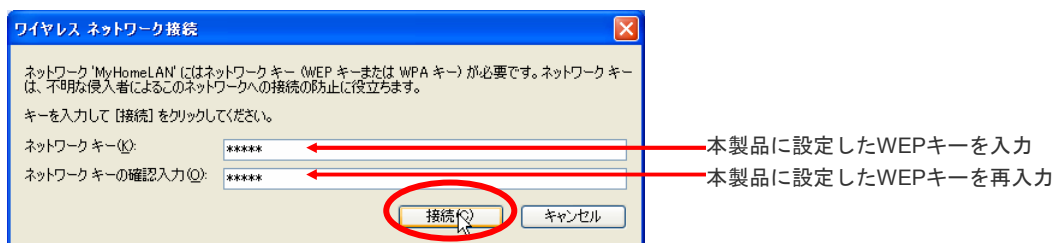
④接続するネットワークを選択して「接続」ボタンをクリックします。

複数の無線LANアクセスネットワークが表示されたときは、本製品に設定したSSIDのネットワークを選択し、「接続」ボタンをクリックします。

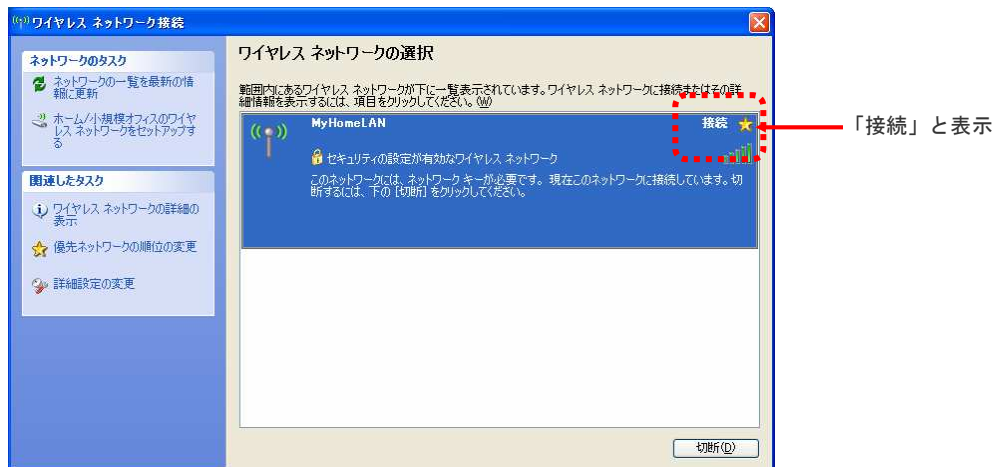


⑤無線LANネットワークと接続します。本製品に暗号化（WEP）を設定してある場合、以下の画面が開きます。

「ネットワークキー」および「ネットワークキーの確認入力」に、本製品に設定したWEPキーを入力し、「接続」ボタンをクリックします。



- ⑥ワイヤレスネットワークが検索され、ネットワークアドレスを取得した後、ワイヤレスネットワークと接続されます。正しく接続するとネットワーク右上に「接続」と表示されます。



- ⑦「ワイヤレスネットワーク接続」ウィンドウ右上の［×］ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。

無線LANの設定は以上で終了です。

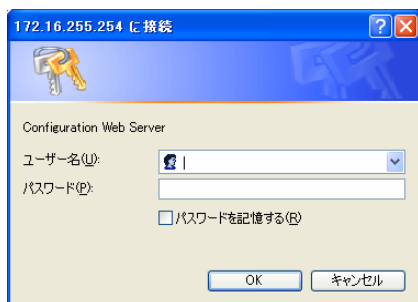
詳細な機能を設定される場合はP56へお進みください。

本製品の詳細な機能設定は、「詳細設定モード」で設定します。

- ①本製品にLANケーブルで接続したパソコンでInternet Explorerを起動し、アドレス欄に以下のように入力して [Enter] キーを押します。

http://172.16.255.254/

- ②Webブラウザに以下の認証画面が表示されます。



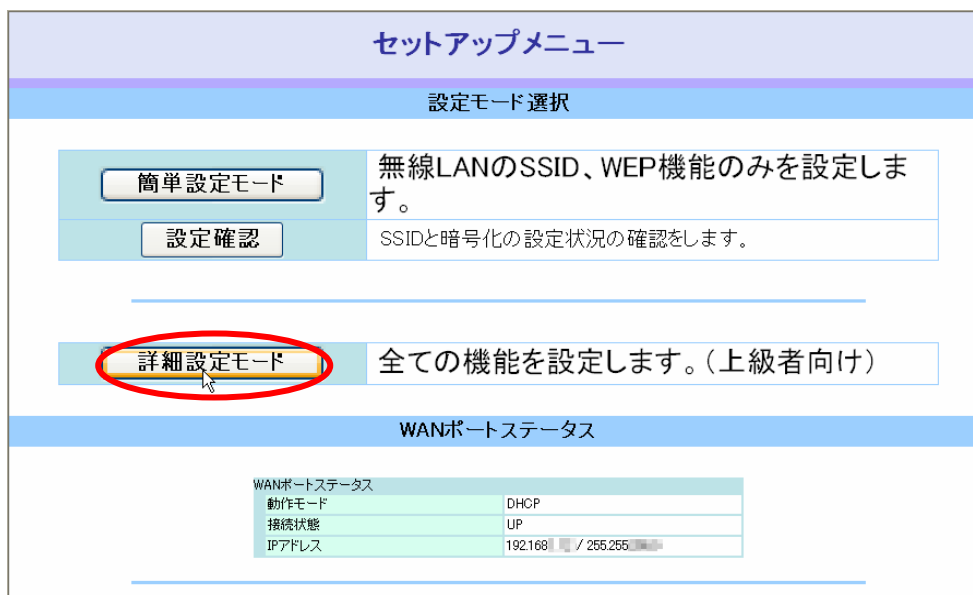
- ③ユーザー名とパスワードを次のように入力して、[OK] ボタンをクリックします。

ユーザー名 : user

パスワード : user

※「user」はすべて半角英小文字で入力します。

- ④Webブラウザに「セットアップメニュー」画面が表示されます。
[詳細設定モード] ボタンをクリックします。



⑥「詳細設定」画面が表示されます。



※ 「詳細設定モード」ボタンをクリックした直後は、「無線LANオプション」の「基本設定」画面が表示されます。

詳細設定の内容

「詳細設定」では、画面左側のメニューによって設定内容を切り替えます。

メニューの内容は以下のようになっています。

区分	項目	設定内容	説明ページ
WANポート	WANポート設定	WANポートの設定をします。「かんたんセットアップ」CD-ROMを利用した場合、自動的に設定されますので、通常は変更しないでください。	P.18
有線・無線LAN共通	IPアドレス/DHCPサーバ	本製品のIPアドレスとDHCPクライアントのIPアドレスの範囲を設定します。クライアントに固定IPアドレスを設定することもできます。	P.58
	有線⇄無線LAN間通信	有線LANと無線LANとの通信の許可／禁止を設定します。	P.59
無線LANオプション	基本設定	SSID、無線チャンネル、暗号化、SSIDの隠蔽など、無線LANの基本的な設定を行います。	P.60
	MACアドレスフィルタリング	利用する無線LANアダプタ固有のMACアドレスを登録し、登録した以外の端末からのアクセスを禁止します。	P.64
ルータ機能	ポート転送	ポート番号ごとに通信可能なクライアントのIPアドレスを指定し、静的IPマスカレードを設定します。	P.66
	UPnP	UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）の有効／無効を設定します。	P.68
情報	設定情報一覧	設定情報の一覧を表示します。	—
	DHCPクライアント一覧	現在のDHCPクライアントの一覧を表示します。	—
保守	ログインパスワード	本製品へのログイン（セットアップメニューの表示）のためのパスワードを変更します。	P.69

●有線LAN・無線LAN共通－IPアドレス/DHCPサーバ

本製品のLAN側IPアドレスおよび、DHCPクライアントのIPアドレスの範囲またはクライアントの固定IPアドレスを設定します。

- ①「セットアップメニュー」の「詳細設定」画面から「有線・無線LAN共通」の「IPアドレス/DHCPサーバ」を選択（クリック）します。

- ②必要な設定を行います。

- ・本機IPアドレス／サブネットマスク

本製品のIPアドレスとサブネットマスクを設定します。出荷状態はそれぞれ「192.168.15.1」と「255.255.255.0」です。通常はこのままでお使いください。

- ・割当IPアドレスの範囲

DHCPクライアントに割り当てるIPアドレスの範囲を指定します。

本製品にアクセスするパソコンに自動的にIPアドレスを割り当てる場合、「開始IP」と「終了IP」を指定します。

- ・固定割当

本製品にアクセスするパソコンにIPアドレスを固定的に割り当てる場合、「割当IP」欄に割り当てるIPアドレスを入力し、「MACアドレス」欄に割り当ての対象となる機器のMACアドレスを入力します。

- ③変更後、「設定保存」欄の「OK」ボタンをクリックします。

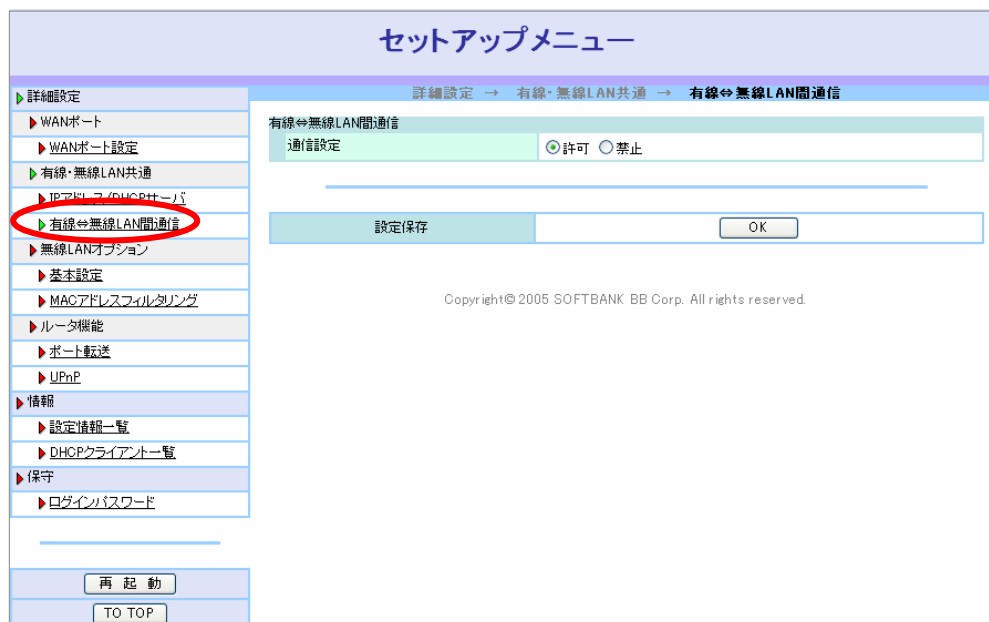
- ④画面左下の「再起動」ボタンをクリックします。

本製品が再起動され、「セットアップメニュー」が表示されます。

●有線LAN・無線LAN共通－有線LAN⇔無線LAN間通信

本製品に有線LANと無線LANによって複数台のパソコンを接続している場合、有線LANと無線LANの間の通信を禁止することができます。

- ①「セットアップメニュー」の「詳細設定」画面から「有線・無線LAN共通」の「有線⇔無線LAN間通信」を選択します。



- ②「通信設定」欄で、有線LANと無線LAN間の通信を設定します。
許可 有線LANと無線LAN間の通信を許可します。
禁止 有線LANと無線LAN間の通信を禁止します。
- ③変更後、「設定保存」欄の「OK」ボタンをクリックします。
- ④画面左下の「再起動」ボタンをクリックします。
 本製品が再起動され、「セットアップメニュー」が表示されます。

●無線LANオプションー基本設定

無線LANを利用する際の基本的な設定を行います。

- ・基本設定
SSID、無線チャンネル、利用する無線LAN規格を設定します。
- ・暗号化設定
WEPまたはWPA-PSKの暗号方式を選択し、暗号化キーを設定します。
- ・セキュリティ設定
無線LAN間の通信の可否、SSID隠蔽の有無を設定します。

①「セットアップメニュー」の「詳細設定」画面から[無線LANオプション]の[基本設定]画面を選択します。

※[詳細設定モード] ボタンをクリックした直後は、[無線LANオプション]の[基本設定]画面が表示されます。

セットアップメニュー

詳細設定 → 無線LANオプション → 基本設定

▶ 詳細設定

- ▶ WANポート
- ▶ WANポート設定
- ▶ 有線・無線LAN共通
- ▶ IPアドレス/DHCPサーバ
- ▶ 有線・無線LAN間通信
- ▶ 無線LANオプション
- ▶ 基本設定
- ▶ MACアドレスフィルタリング
- ▶ ルータ機能
- ▶ ポート転送
- ▶ UPnP
- ▶ 情報
- ▶ 設定情報一覧
- ▶ DHCPクライアント一覧
- ▶ 保守
- ▶ ログインパスワード

基本設定

② SSID: MyHomeLAN
SSIDは、「”(半角)ダブルコーテーション)」のみ使用できません。お好きな文字列を設定することが可能ですが、個人名や電話番号など、個人を特定できる文字列は使用しないでください。

② 無線チャンネル: 自動(1~11)

② 無線LAN通信規格の設定: 自動(IEEE802.11b/g)

暗号化設定

暗号化方式: ☐ 使用しない ☒ WEP ☐ WPA-PSK

② WEP
 WEP: 64bits(英数字(ASCII))
 WEPキー-1: a1ueo
 WEPキー-2: FFFFF
 WEPキー-3: FFFFF
 WEPキー-4: FFFFF
「16進数」を選択された場合は0~9、A~Fの英数字を半角入力してください。
 「64(40)bits(16進数)」の場合は10桁、「128(104)bits(16進数)」の場合は26桁となります。
 「英数字(ASCII)」を選択された場合は0~9、小文字a~z、大文字A~Zの英数字を半角入力してください。
 「64(40)bits(英数字(ASCII))」の場合は5桁、「128(104)bits(英数字(ASCII))」の場合は13桁となります。

② PSK-TKIP
 暗号化キー:
8~63文字の半角英数字を入力してください。

セキュリティ設定

無線LAN端末間の通信: ☒ 許可 ☐ 禁止

② SSIDの隠蔽: ☒ 無効 ☐ 有効
SSIDの隠蔽機能を有効にした場合、無線LANユーティリティでは検索機能が使用できなくなります。
 また、WindowsXPのワイヤレスネットワーク接続機能では接続もできなくなりますのでご注意ください。

設定保存 OK

- ②必要な設定を行います。
設定内容は次ページ以降を参照してください。
- ③設定が終了したら、「設定保存」欄の[OK] ボタンをクリックします。
- ④画面左下の[再起動] ボタンをクリックします。
本製品が再起動され、「セットアップメニュー」が表示されます。

基本設定

基本設定	
SSID	MyHomeLAN
SSIDは、「(半角)ダブルコーテーション」のみ使用できません。好きな文字列を設定することが可能ですが、個人名や電話番号など、個人を特定できる文字列は使用しないでください。	
無線チャンネル	自動(1~11)
無線LAN通信規格の設定	自動(IEEE802.11b/g)

・SSID

無線LANアクセスポイントのSSIDを入力します。SSIDは半角英数字32文字以内で設定し、パソコン側の無線LANアダプタにも同じSSIDを設定します。

・無線チャンネル

通信に使用するチャンネルを選択します。「自動(1~11)」に設定しておく、自動的に状態のよいチャンネルが選択されて通信が行われます。ノイズの影響などで通信が不安定な場合は、チャンネルを固定することで、通信を安定させることができます。通常は変更する必要はありません。

※無線LANアダプタによっては「12」～「14」が使用できない製品があります。その場合は「1」～「11」の範囲で設定してください。「12」～「14」が利用可能かどうかは、お使いの無線LANアダプタまたはパソコン（無線LAN機能内蔵の場合）の説明書を参照してください。

・無線LAN通信規格の設定

使用する無線通信規格を選択します。「自動(IEEE802.11b/g)」に設定しておく、無線LANアダプタの通信規格に合わせて「IEEE802.11b」または「IEEE802.11g」に自動的に切り替えて通信が行われます。「IEEE802.11b」または「IEEE802.11g」に固定して利用した場合、自動設定に比べて通信速度の低減が解消されます。通常は変更する必要はありません。

暗号化設定

暗号化設定	
暗号化方式	☐ 使用しない ☒ WEP ☐ WPA-PSK
WEP	☒ WEPキー-1: a1ueo ☐ WEPキー-2: FFFFFF ☐ WEPキー-3: FFFFFF ☐ WEPキー-4: FFFFFF
「16進数」を選択された場合は0~9、A~Fの英数字を半角入力してください。 「64(40)bits(16進数)」の場合は10桁、「128(104)bits(16進数)」の場合は26桁となります。 「英数字(ASCII)」を選択された場合は0~9、小文字a~z、大文字A~Zの英数字を半角入力してください。 「64(40)bits(英数字(ASCII))」の場合は5桁、「128(104)bits(英数字(ASCII))」の場合は13桁となります。	
PSK:TKIP	暗号化キー: 8~63文字の半角英数字を入力してください。

・暗号化方式

使用する暗号化方式を選択します。

使用しない.....暗号化を使用しません。

WEP.....WEPによる暗号化を使用します。これを選択した場合、「WEP」でWEPキーの種類を選択し、「WEPキー1」～「WEPキー4」にWEPキーを設定します。

WPA-PSK.....WPA-PSKによる暗号化を使用します。「PSK:TKIP」または「PSK:AES」の暗号化種類を選択し、「暗号化キー」にWPA-PSKキーを設定します。

●WEPの設定

WEP方式で暗号化する場合以下の手順で設定します。

- ①「暗号化方式」で「WEP」を選択します。

セキュリティ設定

セキュリティ設定	
無線LAN端末間の通信	☒ 許可 ☐ 禁止
SSIDの隠蔽	☒ 無効 ☐ 有効
SSIDの隠蔽機能を有効にした場合、無線LANユーティリティでは検索機能が使用できなくなります。 また、WindowsXPのワイヤレスネットワーク接続機能では接続もできなくなりますのでご注意ください。	

・無線LAN端末間の通信

無線LAN端末間の通信の禁止／許可を設定します。

許可 無線LAN端末間の通信を許可します。無線LANでアクセスしているパソコン同士で通信ができます。

禁止 無線LAN端末間の通信を禁止します。無線LANでアクセスしているパソコン同士の通信はできません。

・SSIDの隠蔽

設定したSSIDを隠蔽（アクセスしたパソコンに表示しない）するかどうかを設定します。

有効 SSIDの隠蔽を有効にします。本製品の無線LANの電波を受信したパソコンにSSIDは表示されません。

無効 SSIDの隠蔽をしません。本製品の無線LANの電波を受信したパソコンにSSIDが表示されます。

※この設定は、設定したSSIDが外部から見えるかどうかを設定するものです。隠蔽を有効にした場合でも、無線LANによる通信は通常通り行われます。

●無線LANオプション－MACアドレスフィルタリング

本製品は、無線LANにアクセスする端末のMACアドレスを登録することにより、登録していない無線LAN端末からのアクセスを禁止できます。

※MACアドレス（Media Access Control Address）は、LANアダプタ固有のアドレスです。48ビットの長さがあり、世界中の機器に別々のアドレスが設定されています。

- ①「セットアップメニュー」の「詳細設定」画面から「無線LANオプション」の「MACアドレスフィルタリング」を選択します。

Copyright© 2005 SOFTBANK BB Corp. All rights reserved.

- ②「機能の切替え」欄で「フィルタ有効」を選択します。
- ③No.1～16の各行に、接続を許可する機器のMACアドレスを入力します。
[参照] ボタンをクリックすると、無線LANで接続しているクライアントのMACアドレスから選択して設定できます。
- ④「有効／無効」欄で「有効」に設定します。
※MACアドレスを入力した端末でも、「無効」の状態ではアクセスできません。

- ⑤変更後、「設定保存」欄の [OK] ボタンをクリックします。
- ⑥画面左下の [再起動] ボタンをクリックします。
本製品が再起動され、「セットアップメニュー」が表示されます。

●ルータ機能－ポート転送

通常、本製品は、一般的なポート番号の通信のみをLAN側に通過させますが、ネットワーク対応ゲームなどを利用する場合、ソフトウェアメーカーやネットワークサービス事業者が指定するポートを開放しなければならないことがあります。ポート転送（静的IPマスカレード）により、指定されたポート番号を有効にし、その通信を利用するパソコンのIPアドレスを指定することにより、そのパソコンで、そのネットワークサービスを利用することができます。

※UPnPに対応したネットワークサービスの場合、静的IPマスカレードを設定せず、「ルータ機能－UPnP」（68ページ）で述べるUPnPを有効にすることで利用可能になります。

- ①「セットアップメニュー」の「詳細設定」画面から「ルータ機能」の「ポート転送」を選択します。

セットアップメニュー

▶ 詳細設定

▶ WANポート

▶ WANポート設定

▶ 有線・無線LAN共通

▶ IPアドレス/DHCPサーバ

▶ 有線⇄無線LAN間通信

▶ 無線LANオプション

▶ 基本設定

▶ MACアドレスフィルタリング

▶ ルータ機能

▶ ポート転送

▶ UPnP

▶ 情報

▶ 設定情報一覧

▶ DHCPクライアント一覧

▶ 保守

▶ ログインパスワード

詳細設定 → ルータ機能 → ポート転送

No.	有効/無効	プロトコル	WAN側ポート番号	LAN側ポート番号	転送先IPアドレス
1	無効	TCP	-	-	. . .
2	無効	TCP	-	-	. . .
3	無効	TCP	-	-	. . .
4	無効	TCP	-	-	. . .
5	無効	TCP	-	-	. . .
6	無効	TCP	-	-	. . .
7	無効	TCP	-	-	. . .
8	無効	TCP	-	-	. . .
9	無効	TCP	-	-	. . .
10	無効	TCP	-	-	. . .
11	無効	TCP	-	-	. . .
12	無効	TCP	-	-	. . .
13	無効	TCP	-	-	. . .
14	無効	TCP	-	-	. . .
15	無効	TCP	-	-	. . .
16	無効	TCP	-	-	. . .

UPnPで使用中のポートを表示する ☒ 表示しない ☐ 表示する

設定保存
OK

Copyright© 2005 SOFTBANK BB Corp. All rights reserved.

- ②必要な設定を行います。

・プロトコル

使用するプロトコルを「TCP」または「UDP」から選択します。

・WAN側ポート番号

インターネット側から本製品に入ってくる通信のポート番号を指定します。利用するネットワークサービスの提供者が指定したポート番号を指定します。

・LAN側ポート番号（転送先ポート番号）

LAN側で通信に使用するポート番号を指定します。特にネットワークサービス事業者から指定がない場合は、通常利用される番号以外の任意のポート番号を入力します。

・転送先IPアドレス

ネットワークサービスを利用するパソコンのIPアドレスを指定します。

・有効／無効

各項目を設定後、「有効」を選択します。

使用プロトコルを選択 WAN側ポート番号の範囲を指定 LAN側ポート番号の範囲を指定 利用するパソコンのIPアドレスを指定

No.	有効/無効	プロトコル	WAN側ポート番号	LAN側ポート番号	転送先IPアドレス
1	無効 ▼	TCP ▼	-	-	. . .
2	無効 ▼	TCP ▼	-	-	. . .
3	無効 ▼	TCP ▼	-	-	. . .

「有効」を選択

③変更後、「設定保存」欄の [OK] ボタンをクリックします。

④画面左下の [再起動] ボタンをクリックします。

本製品が再起動され、「セットアップメニュー」が表示されます。

●ルータ機能－UPnP

UPnP（Universal Plug and Play）は、ネットワークサービスを利用するための設定を自動的に行う機能です。インスタントメッセージやネットワークゲームなどのネットワークサービスの一部では、ルータのポート番号を開放するなどの設定が必要になりますが、UPnPに対応したサービスを利用する場合は、本製品のUPnPを有効にすることで利用可能になります。

- ①「セットアップメニュー」の「詳細設定」画面から[ルータ機能]の[UPnP]を選択します。



- ②「UPnP」欄で、UPnPを設定します。
 有効.....UPnPを使用します。
 無効.....UPnPを使用しません。
- ③変更後、「設定保存」欄の[OK] ボタンをクリックします。
- ④画面左下の[再起動] ボタンをクリックします。
 本製品が再起動され、「セットアップメニュー」が表示されます。

●保守－ログインパスワード

本製品の各種設定を変更するための「セットアップメニュー」へのログインパスワードを変更します。

- ①「セットアップメニュー」の「詳細設定」画面から「保守」の「ログインパスワード」を選択します。

セットアップメニュー

保守 → ログインパスワード

ログインパスワードの変更

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワードの確認

パスワードは半角英数字、半角記号を最大16文字まで使用可能です。

設定保存

再起動

Copyright © 2005 SOFTBANK BB Corp. All rights reserved.

- ②「現在のパスワード」欄に、現在のパスワードを入力します。
- ③「新しいパスワード」欄に、新しいパスワードを入力します。
- ④「新しいパスワードの確認」欄に、「新しいパスワード」と同じパスワードを入力します。
- ⑤変更後、「設定保存」欄の「OK」ボタンをクリックします。
- ⑥画面左下の「再起動」ボタンをクリックします。
本製品が再起動され、ログインのための認証画面が表示されます。

製品仕様

伝送速度		最大100Mbps※
WAN	規格	IEEE802.3/IEEE802.3i/IEEE802.3u/IEEE802.3x
	インターフェース	1ポート（MDI/MDI-X自動認識）
	コネクタ形状	RJ-45
LAN	規格	IEEE802.3/IEEE802.3i/IEEE802.3u/IEEE802.3x
	インターフェース	4ポート（MDI/MDI-X自動認識）
	コネクタ形状	RJ-45
電話	インターフェース	2ポート（FXS/FXO 各1ポート）
	コネクタ形状	RJ-11
拡張スロット／コネクタ		32bit card bus Type2 slot
動作環境条件	周囲温度	5～45℃
	周囲湿度	15～85%（結露がない状態）
電源アダプタ型番		PSA18A-120（PA）
電源	Input	AC100～240V、50/60Hz 0.5A
	Output	12VDC±5% 1.5A
最大消費電力		4.8W
最大消費電流		0.4A（12VDC）
電波障害規格／EMC規格		VCCI クラスB
外形寸法（W×D×H）		140mm×195mm×65.2mm
質量		480g（本体のみ）
WANプロトコル		DHCP、PPPoE、手動
認証機能		PAP/CHAP/RADIUS
管理プロトコル		HTTP
呼制御プロトコル		SIP
設定手段		HTTP（UI）
ルータ機能	DHCPサーバ、DHCPクライアント	
	DNSリレー、UPnP	

※表示の速度は、LAN規格の最大値であり、実効速度を示すものではありません。

…………… ご不明な点などございましたら下記までお問い合わせください ……………

■ SoftBank BB 光「フレッツ」サポートセンター

【一般電話】	0120-981-030（通話料無料）
【携帯電話・PHS】	092-288-6666（通話料はお客様ご負担）
【受付時間】	10:00～19:00 ※施設点検日、メンテナンス日は休業

- ・ 「ソフトバンク」は当社またはグループ会社の登録商標または商標です。
- ・ 本冊子の一部または全部を無断複写・転載することを禁じます。
- ・ 本冊子の製品に対する記述は情報を提供する目的で書かれたもので、保証するものではありません。
- ・ サービス内容および提供条件は、改善等のため予告なく変更することがあります。
- ・ Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Mac OSは米国Apple Computer Inc.の商標または登録商標です。
- ・ その他、記載されている製品名およびサービス名は、各社の登録商標および商標です。
- ・ 本冊子の本文中ではTM、®マークは明記していません。
- ・ 記載内容は2011年12月1日現在のものです。

発行元 ソフトバンクBB株式会社 2011年12月1日発行